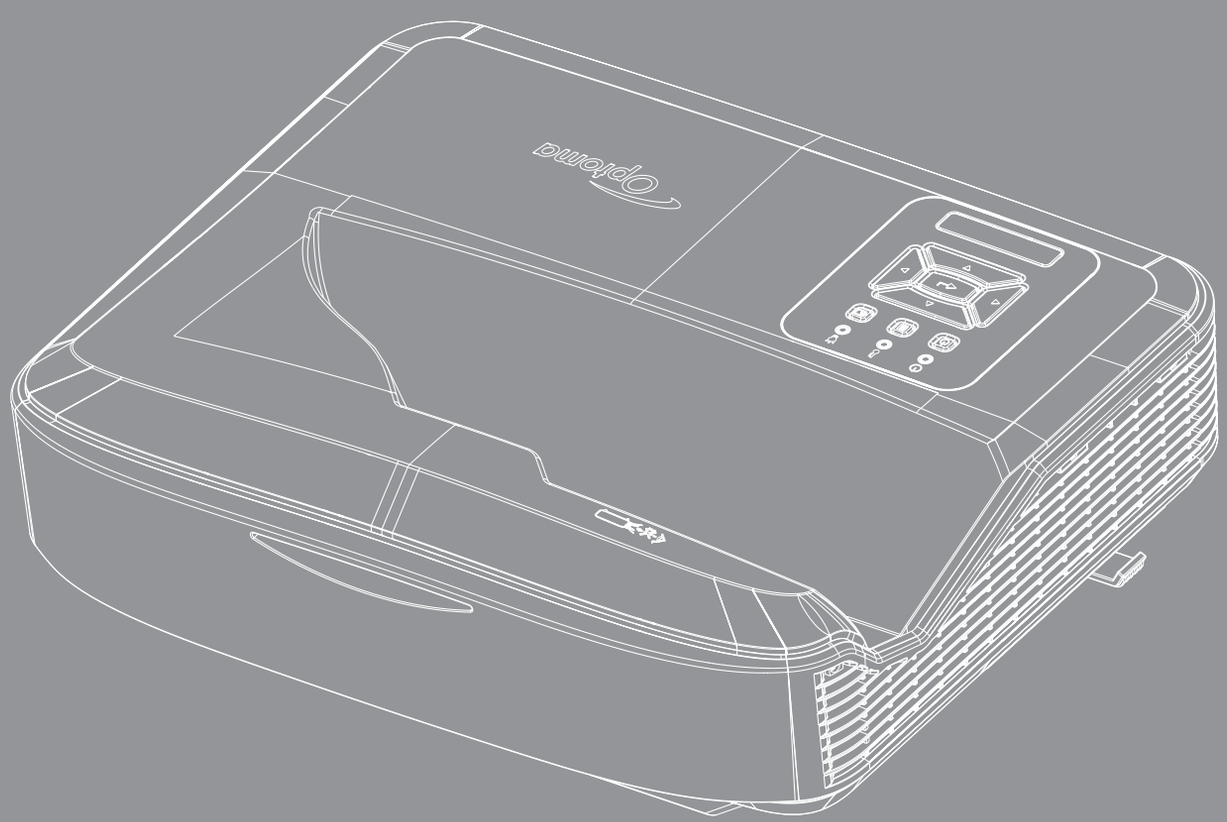
Optoma

超短焦点レーザーDLPプロジェクター

ZU 500UST

取扱説明書



Extron IPLINK CERTIFIED　CRESTRON　PJLink　4K COMPATIBLE　HDR COMPATIBLE　Full 3D　HDMI™　DLP® TEXAS INSTRUMENTS

目次

使用上のご注意 4

安全上のご注意.....4
レンズの清掃.....5
レーザーポインターについて.....6
3D安全情報 7
著作権 8
免責事項 8
商標権 8
FCC 8
EU諸国に対する適合宣言 9
WEEE.....9

はじめに 10

パッケージの内容 10
標準アクセサリー 10
製品の各部名称 11
接続 12
コントロールパネル 13
リモコン.....14

設定と設置 15

プロジェクターの設置.....15
ソースをプロジェクターに接続する.....17
投写画像の調整.....18
プロジェクターのフォーカス調整 19
リモコンの準備.....20

プロジェクターを使用する 22

プロジェクターの電源を入れる/切る 22
入力ソースを選択する 23
プロジェクター設定メニュー(OSD).....24
OSDメニューツリー 25
映像設定メニュー.....35
強化されたゲームメニュー.....37
3Dメニュー.....38
アスペクト比メニュー.....39

エッジマスクメニュー 41
ズームメニュー 41
デジタルレンズシフトメニュー.....41
映像移動調整メニュー 41
ジオメトリ補正メニュー.....41
音声設定メニュー 42
ミュートメニュー 42
マイクメニュー.....42
音量メニュー 42
マイクボリュームメニュー.....42
設置モードメニュー 43
アスペクトメニュー.....43
フィルター設定メニュー.....43
電源設定メニュー.....44
セキュリティメニュー.....44
HDMI Link設定メニュー 45
テストパターンメニュー.....45
リモコン設定メニュー 45
プロジェクターIDメニュー.....46
オプションメニュー.....46
OSDリセットメニュー 48
LANメニュー..... 48
コントロールメニュー..... 49
コントロール設定メニュー 50
情報メニュー.....55

追加情報 56

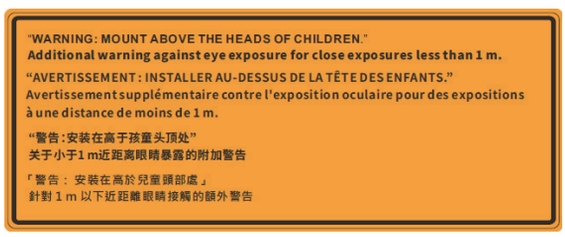
対応解像度.....56
RS232 ポート設定および信号の接続 61
イメージサイズと投写距離.....62
プロジェクターの寸法と天井取り付け.....63
IRリモコンコード..... 64
故障かなと思ったら.....66
警告インジケーター 68
仕様 69
RS232protocolfunctionlist..... 70

使用上のご注意

⚠	正三角形に矢印の付いた稲妻は、製品の本体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」がかかっていることをユーザーに警告するものです。
⚠	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス(修理点検法など)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

安全上のご注意



- 光線を凝視しないでください。（RG2）
  高輝度の光源に関しては、光線を直接凝視しないでください。RG2 IEC 62471-5:2015
  - このプロジェクターは、IEC 60825-1:2014のクラス1レーザー製品で、IEC 62471-5:2015の要件を伴うリスクグループ2に属します。
- お子様については、プロジェクターからの光線はどんな距離からでも見つめさせないようにしてください。
- プロジェクターのレンズ前でリモコンを操作してプロジェクターを起動させる場合は、特にご注意ください。
- ユーザー各位は、光線経路に双眼鏡や望遠鏡などの光学機器を使用しないようにご注意ください。
- 通気口を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気口を塞がないような場所に設置してください。例えば、多くの物が置いてあるところにプロジェクターを置かないでください。 また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。火災や感電の原因になります。
  ラジエーター、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む)など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が侵入しないよう、ご注意ください。
  注）：危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    (i) 室温が5 ℃~ 40℃ の範囲に保たれていることを確認します。
    (ii) 相対湿度は10% ~ 85%
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場を生成する機器の近く。
  - 直射日光の当たる場所。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的な破損/乱用は、次のような場合をいいます(但し、これは一部の例です)：
  - 装置を落下した。
  - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
  - プロジェクターに液体をこぼした。
  - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
  - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。
  注）：プロジェクターが転倒してけがの原因となるか、または機器が破損することがあります。

使用上のご注意

- 操作中、プロジェクターレンズから出る光線を遮らないでください。
  注）：物体が光線で加熱されて溶解、焼損、失火の原因となります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。
  注）：感電の原因になります。
- 安全に関する注意書きについては、プロジェクターの本体をご覧ください。
- 本機の修理は、テクニカルサポートセンターにご連絡ください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリのみをご使用ください。
- プロジェクター使用中、レンズを直視しないでください。
  注）：高輝度の光が目に損傷を与える危険があります。
- 本プロジェクターは、光源の寿命を自動的に検知します。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレイ本体は、中性洗剤を軽く湿らせた柔らかい乾いた布で拭いてください。
  注）：本体を研磨材入りクリーナ ー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 振動や衝撃を受ける可能性のある場所に、プロジェクターを設置しないでください。
- レンズは素手で触らないでください。
- 保管時は、リモコン内の電池を外してください。
  注）：電池を長時間リモコンに入れたままにしておくと、液漏れが起きる場合があります。
- 石油やタバコからの煙が存在する場所にプロジェクターを使用または保管しないでください。
  注）：プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターの設置は正しい向きに行ってください。
  注）：非正規の設置は、プロジェクター性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターには、テーブルタップまたはサージ保護電源をご使用ください。
  注）：停電や電圧異常で機器が使用不能になる場合があります。

レンズの清掃

- レンズを清掃する前に、必ずプロジェクターの電源を切り、電源コードを抜いて本体の温度が完全に下がるのを待ってください。
- ホコリを取り除くには圧縮空気スプレーをご使用ください。
- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズは素手で触らないでください。
- レンズの清掃にアルカリ/酸性洗剤またはアルコール等の揮発性溶剤を使わないでください。
  ※ 清掃処理により、レンズが損傷した場合は、保証の対象外となります。

警告：レンズからホコリや汚れを取るのに、可燃性ガスを含むスプレーは使わないでください。
プロジェクター内部の過度な熱により火災が発生する可能性があります。

警告：プロジェクターがウォームアップ中は、レンズ清掃を行わないでください。
レンズ表面のフィルムが剥がれる恐れがあります。

警告：硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。

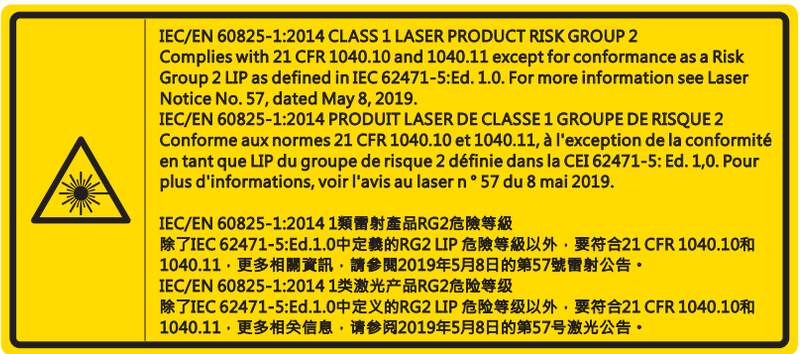
感電防止のため、本体および周辺装置は正しく接地(アース)する必要があります。

当装置には接地線付き電源プラグが備わっています。電源プラグの接地線は撤去しないでください。
これは安全機能です。接地方法がわからない場合は、電気技師にお問い合わせください。

使用上のご注意

レーザーポインターについて

- 本製品はCLASS 1レーザー製品 - IEC60825-1:2014のリスクグループ2に分類され、IEC 62471:5:Ed. 1.0に定義されたリスクグループ2, LIP (Laser Illuminated Projector)として、21 CFR 1040.10および1040.11に準拠しています。詳細は、2019年5月8日付Laser Notice No. 57を参照。
- 高輝度の光源に関しては、レーザーを直接凝視しないでください。RG2 IEC 62471-5:2015



- プロジェクターの電源を入れる際は、投写範囲にいる人がレンズを見ていないことを確認してください。
- レーザー光路に反射物（拡大鏡など）を置かないでください。レンズから投写される光路は広範囲であるため、レンズから出てくる光の方向を変換させるあらゆる種類の異常な物体が、火災や目の損傷などの予期しない結果を引き起こす可能性があります。
- 取扱説明書によって特に指示されてないどんな操作または調整でも、レーザの放射にさらされる危険性を生み出します。
- プロジェクターを開けたり分解しないでください。レーザー放射の暴露によって負傷することがあります。
- プロジェクターの電源が入っているときにレーザービームを見つめないでください。明るい光によって目に永続的な障害が生じる恐れがあります。

コントロール、調整または操作手順に従わないと、レーザー放射の暴露によって負傷する恐れがあります

3D 安全情報　※

推奨されるすべての警告と安全上の注意に従った上で、ご自身またはお子様が 3D 機能をご利用ください。

警告

幼児及び 10 代の方は、3D 鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は十分にご注意ください。

光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- プロジェクターの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合又はてんかんや発作の家族歴がある場合、3D 機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- てんかんや発作の個人歴又は家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。
- 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の 3D 機能のご使用はお控えください。
- 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに 3D 画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください: (1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4) 眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5) 混乱状態、(6) 吐き気、(7) 意識喪失、(8) 痙攣、(9) 急激な腹痛、(10) 見当識障害。幼児及び 10 代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。お子様については、これらの症状が出ていないか注意してください。
- 3D 投写の鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、又は上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止いただき、症状が落ち着いてから最低 30 分はご使用をお控えください。
- 長時間、かなり画面の近くに座って 3D 投写を鑑賞すると 、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低 3 倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- 3D 眼鏡をかけながらの長時間にわたる 3D 投写の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起 こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D 投写の鑑賞を中止し、休憩してください。
- 3D 投写の鑑賞以外の目的での 3D 眼鏡のご使用はお止めください。
- その他目的 (通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど) のための 3D 眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、視力の低下をもたらす恐れがあります。
- 3D 投写の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に 3D プロジェクターを設置しないでください。

※　**日本モデルは3Dに対応していません。**

使用上のご注意

著作権

この取扱説明書は、全ての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、 著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられています。この取扱説明書に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしに複製することはできません。

©著作権2021

免責事項

本書の情報は予告なしに変更される場合があります。製造元は記載内容を代表、または保証することはありませんし、また商業性の暗黙の保証および特定の目的への適合性に関しての責任は負いかねます。製造元は当出版物の内容に関して時に応じて変更する権利を有し、またそのバージョンや変更に関する通知の義務は一切持たないものとします。

商標権

KensingtonはACCO Brand社の米国における登録商標であり、世界における各地の登録済または申請中のものも含まれます。

HDMIおよびHDMIロゴさらにHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国及びその他の国でのHDMIライセンシングLLCの商標または登録商標です。

DLP®, DLP LinkおよびDLPのロゴはTexas Instrumentsの登録商標、またBrilliantColor™もTexas Instrumentsの商標です。

本書に記載された他の全ての製品名は、個々の会社に帰属し、識別用に使用されています。

FCC

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これら制限は、 居住地において、有害な干渉への適切な保護を提供するために規定されています。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなか った場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオン・オフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお薦めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店や資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ

注意：シールド付きケーブル
その他コンピューターデバイスへのすべての接続は、FCC規制を遵守するためにシールド付きケーブルを使用して行ってください。

注意
FCC準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に製造元から承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

操作条件
本製品はFCC規則パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます：

1. 電波障害を起こさないこと。
2. 本装置は誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

使用上のご注意

本装置は検証済みであり、FCC規則パート15に準じて、クラスBデジタル機器の制限事項に準拠しています。
これら制限は、装置が商業環境で操作される際、有害な干渉から合理的な保護を提供すべく設計されています。
本装置は高周波エネルギーを生成、使用または放射する可能性があり、指示に従って設置・使用しなかった場合には、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。
当装置の住所環境での使用は有害な干渉を発生する可能性があり、その場合ユーザー負担で干渉を解決する手段を講じる必要があります。

注意：カナダにお住まいのユーザー様
当クラスBデジタル機器はカナダ規制ICES-003に準拠しています。
Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens
Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

EU諸国に対する適合宣言

- EMC指令2014/30/EU (修正案を含む)
- 低電圧指令2014/35/EU
- R & TTE指令2014/53/EU (製品にRF機能が搭載されている場合)

WEEE

廃棄に関する指示

この電子デバイスを処分するとき、ごみ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え地球環境を最大限に保護するため、本製品をリサイクルしてください。

For J55022
注意：
この製品はクラス A 情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる 恐れがあります。
その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

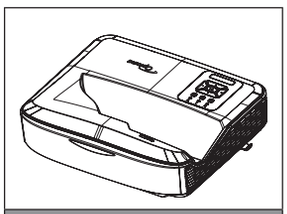
For J55032
注意：クラスA要求を満足する機器は、住宅環境内で放送サービスの適切な保護を提供しない恐れがある。

はじめに

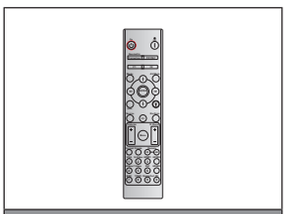
パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、標準アクセサリー一覧に記載されている品目が揃っていることを確認してください。

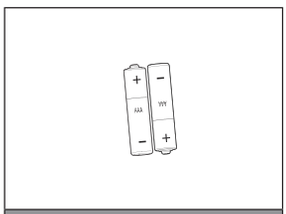
標準アクセサリー



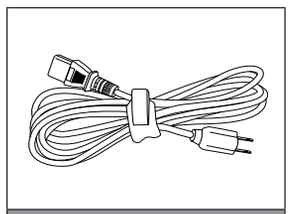
プロジェクター



リモコン



単4電池（2個）



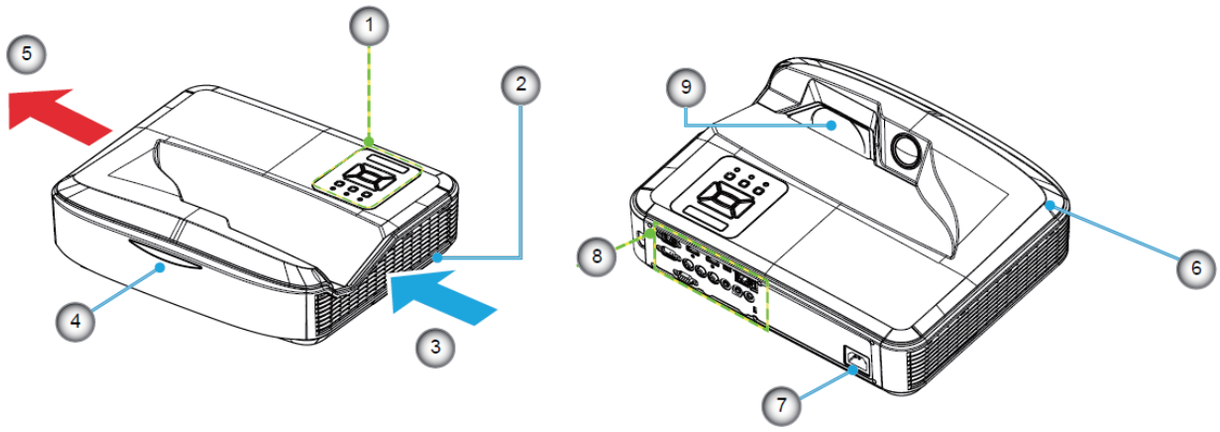
電源コード

取扱注意書
（QRコード）

文書

はじめに

製品の各部名称



注:

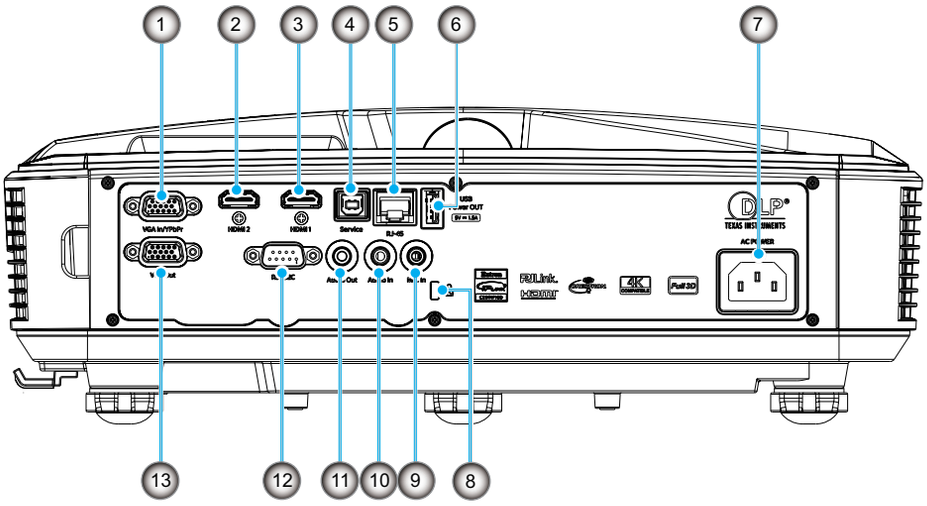
- *プロジェクターの給排気口を塞がないでください。*
- *閉鎖したスペースでプロジェクターを動作させる場合、給排気口の前方には最低30 cmの余裕を持たせてください。*

番号	項目
1.	コントロールパネル
2.	フォーカススイッチ
3.	通気口(吸気)
4.	赤外線レシーバー
5.	通気口(排気)

番号	項目
6.	スピーカー
7.	電源ソケット
8.	入力/出力
9.	レンズ

はじめに

接続

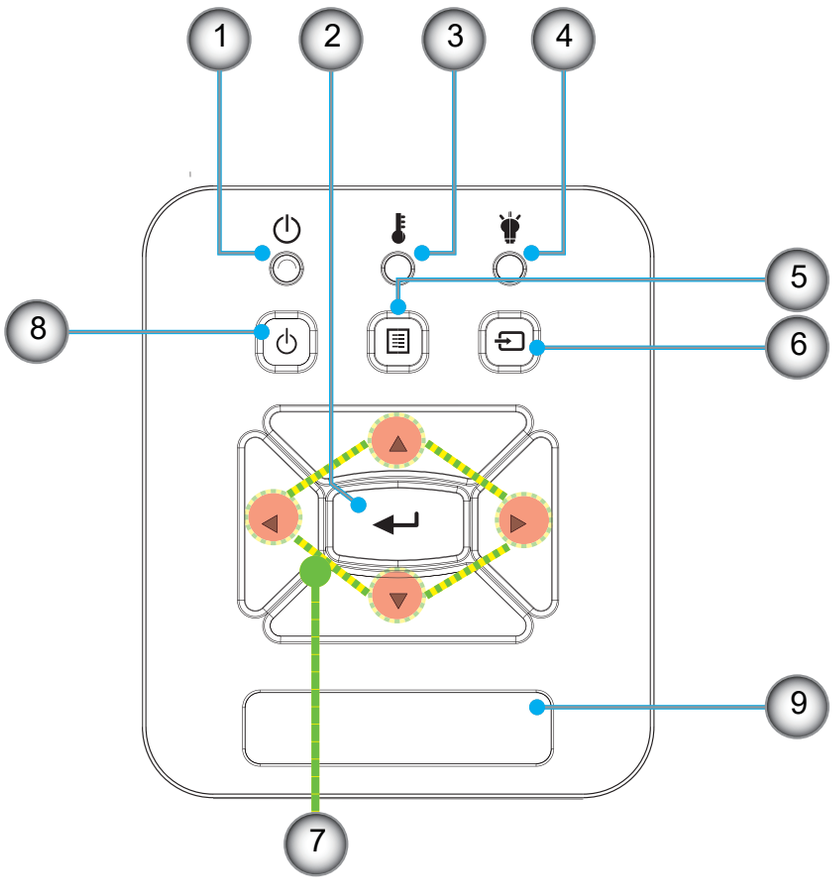


番号	項目
1.	VGA入力/YPbPrコネクター
2.	HDMI 2コネクター
3.	HDMI 1コネクター
4.	USBタイプBコネクター
5.	RJ45コネクター
6.	USBパワー出力(5 V /1.5 A) コネクター

番号	項目
7.	電源ソケット
8.	Kensington™ロックポート
9.	マイク入力コネクター
10.	オーディオ入力コネクター
11.	オーディオ出力コネクター
12.	RS-232コネクター
13.	VGA出力コネクター

はじめに

コントロールパネル

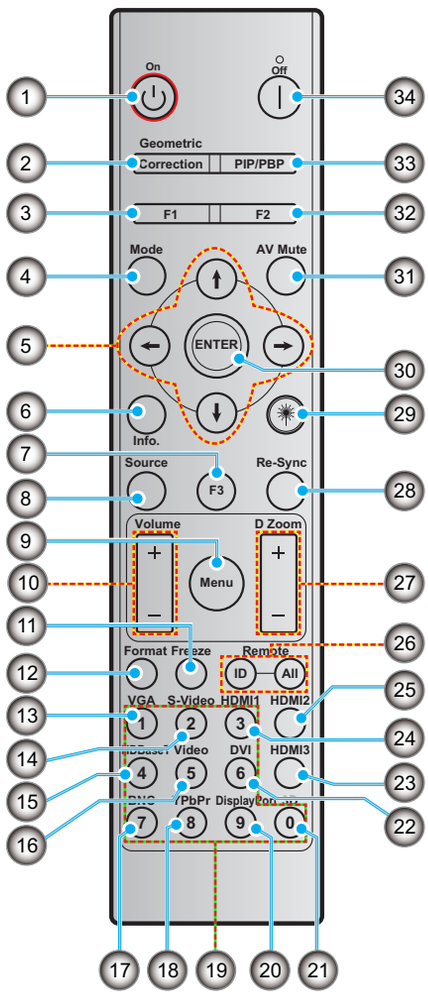


番号	項目
1.	電源LED
2.	ENTER
3.	温度LED
4.	ランプLED
5.	メニュー

番号	項目
6.	入力
7.	4方向選択キー
8.	電源/スタンバイボタン
9.	赤外線レシーバー

はじめに

リモコン



番号	項目
1.	電源オン
2.	ジオメトリー補正
3.	ファンクションボタン (F1) (定義可能)
4.	モード
5.	4方向選択キー
6.	情報
7.	ファンクションボタン (F3) (定義可能)
8.	ソース
9.	メニュー
10.	音量-/+
11.	フリーズ
12.	フォーマット(アスペクト比)
13.	VGA
14.	S-Video (非対応)
15.	HDBase-T (非対応)
16.	ビデオ
17.	BNC (非対応)

番号	項目
18.	YPbPr (非対応)
19.	数字キーパッド (0 ~ 9)
20.	Displayポート (非対応)
21.	3D
22.	DVI (非対応)
23.	HDMI 3 (非対応)
24.	HDMI 1
25.	HDMI 2
26.	リモコンID/リモコン全部
27.	デジタルズーム -/+
28.	再同期
29.	レーザー
30.	ENTER
31.	AV消音
32.	ファンクションボタン (F2) (定義可能)
33.	PIP/PBP (非対応)
34.	電源オフ

注:

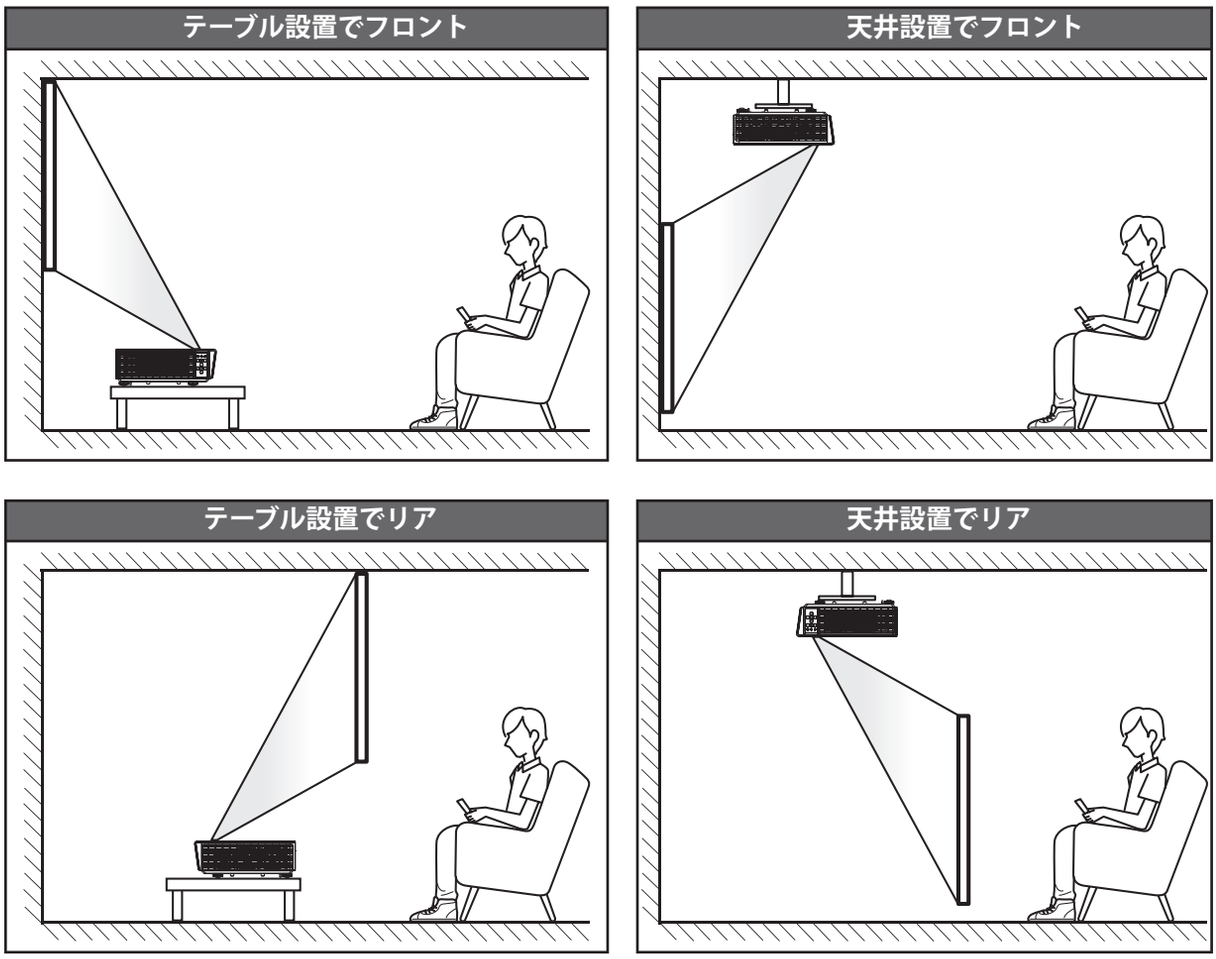
- *モデルによっては対応していない機能があるので、対応するキーが無効となる場合があります。*
- *Wired IR 機能には非対応です。*

設定と設置

プロジェクターの設置

このプロジェクターは4つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

お部屋のレイアウトやお好みによって設置場所を決定できます。考慮する要素はスクリーンのサイズと場所、適切なコンセントの場所、プロジェクターの場所や他の装置との距離などです。



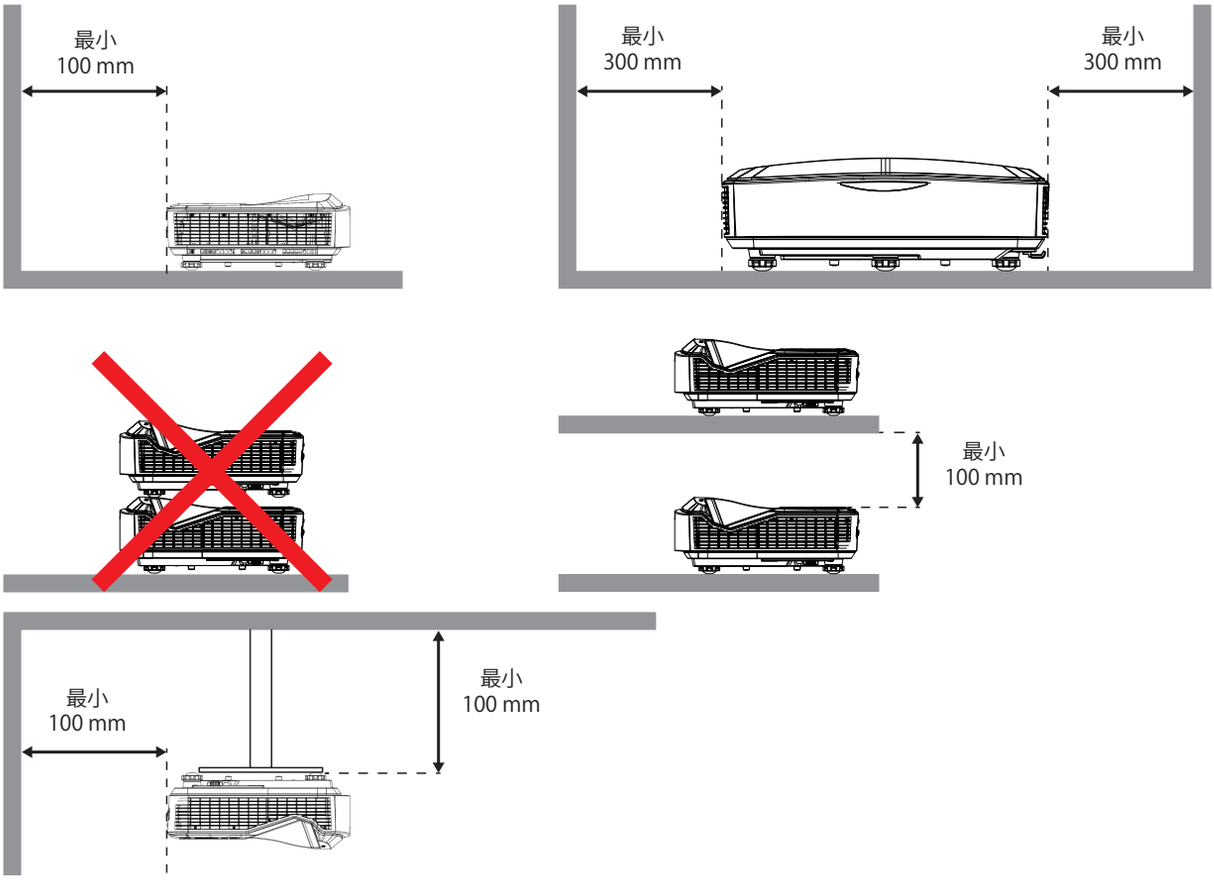
プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して90度/垂直になるようにします。

- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、62ページの投写距離表をご参照ください。
- 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、62ページの投写距離表をご参照ください。

注: *プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投写される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。*

設定と設置

プロジェクター設置の注意



- 給気口が排気口からの空気を吸わないよう確認してください。
- プロジェクターをエンクロージャー内で動作させる場合、プロジェクター動作中のエンクロージャー内温度が動作温度を超えないこと、給排気口が塞がれないことを確認してください。
- 全てのエンクロージャーは放熱条件を満たして、排気が循環しないようにします。これが満たされないとエンクロ ージャーの温度が動作温度範囲内でも装置がシャットダウンする可能性があります。
- ほこりが多い環境でご使用の場合など、環境や使用条件によっては、ほこりが吸気口付近にたまることがあります。
- それにより、本機内部の送風・冷却・排熱の循環が悪化し、明るさ低下や破損につながる恐れがあります。

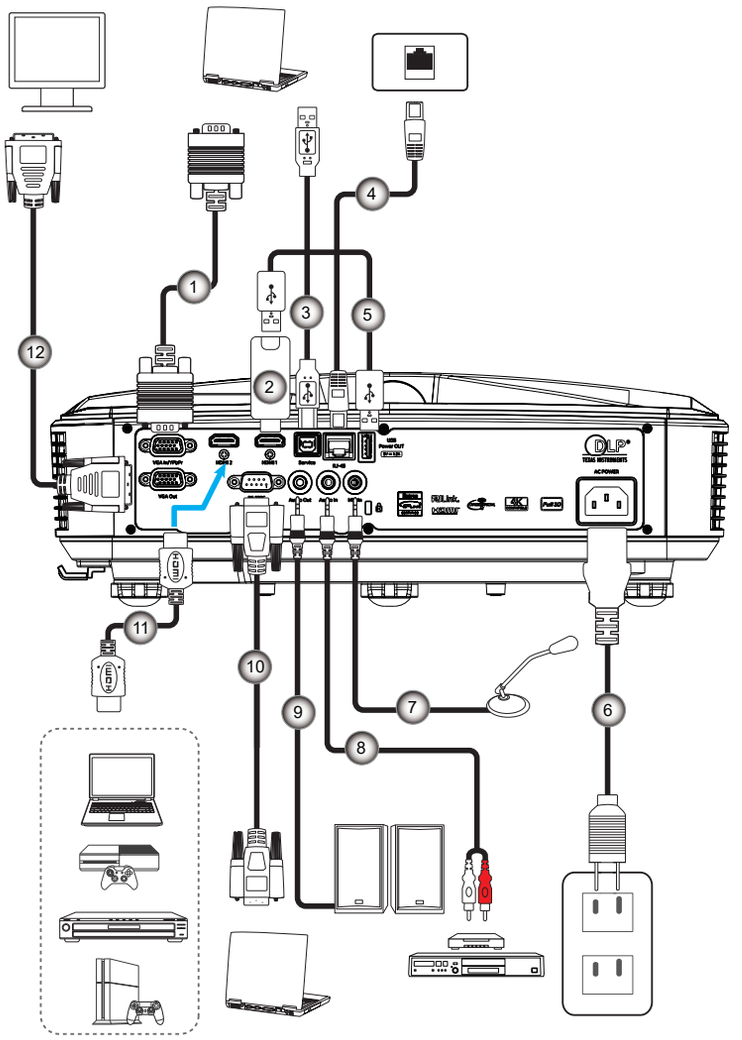
お手入れについて

- 吸気口/排気口のほこりを半年から1年を目安に清掃してください。
- 内部清掃に関してはテクニカルサポートセンターにご相談ください。

注： *フロント、天井、リア投写に対応します。*

設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



番号	項目
1.	VGAケーブル
2.	HDMIドングル
3.	USB A～Bケーブル
4.	RJ45ケーブル
5.	USB A～Aケーブル
6.	電源コード

番号	項目
7.	マイクロフォンケーブル
8.	オーディオ入力ケーブル
9.	オーディオ出力ケーブル
10.	RS232ケーブル
11.	HDMIケーブル
12.	VGA出力ケーブル

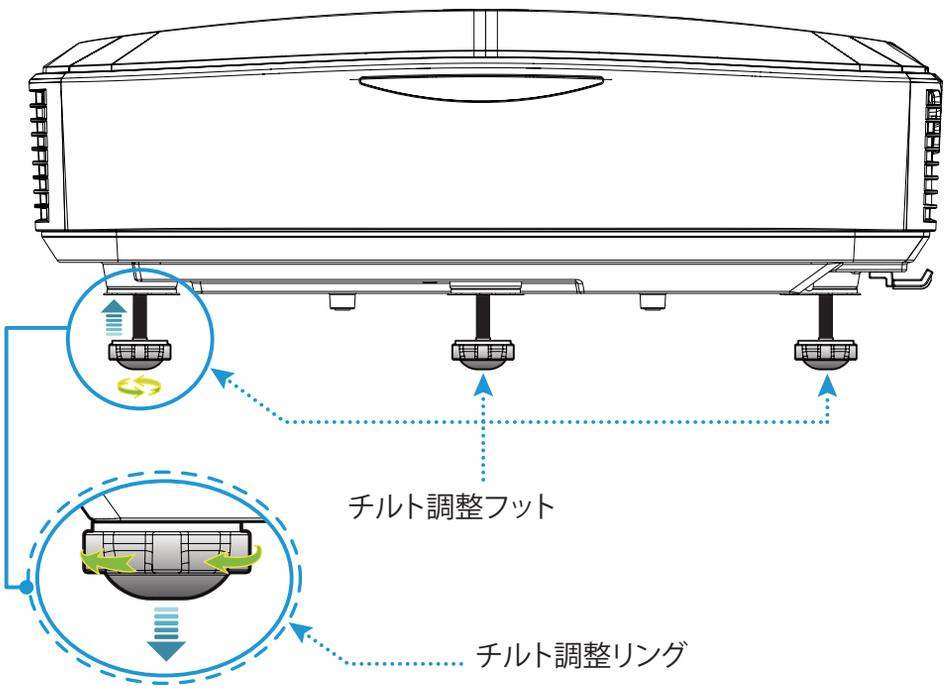
設定と設置

投写画像の調整

画像の高さ

本プロジェクターには、投写映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面にある、チルト調整フットを確認してください。
2. 調整フットを時計方向または反時計方向に回して、プロジェクターを上げ下げします。

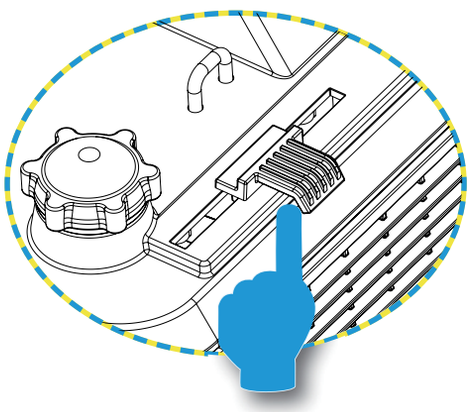


設定と設置

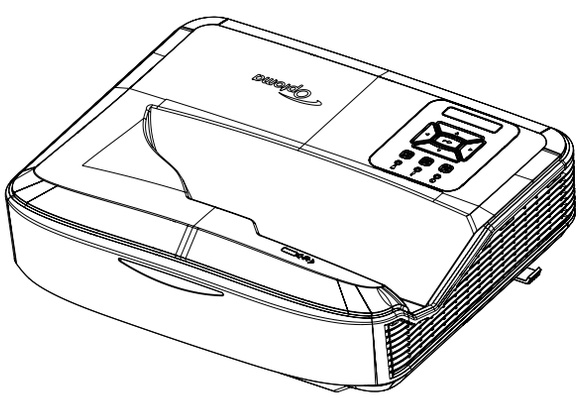
プロジェクターのフォーカス調整

フォーカスを調整するには、画像が鮮明になるまでフォーカススイッチを左/右にスライドさせます。

- このプロジェクターのピント合わせの距離(セット前面から壁まで)は0.457 ~ 0.583メートルの範囲です。



フォーカススイッチ



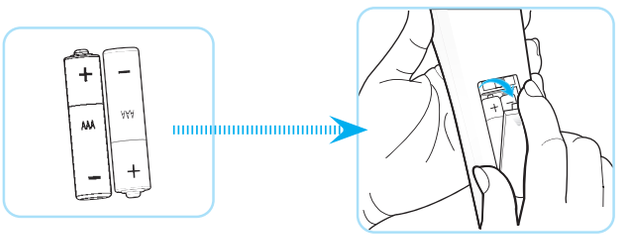
設定と設置

リモコンの準備

電池の取り付け / 交換

リモコン用に単4型電池2本が付属しています。

1. リモコン背面の電池カバーを外します。
2. 図のように単4型電池を電池スペースに収めます。
3. リモコンのカバーを元に戻します。



注：*交換には、同一または同等のタイプの電池のみを使用してください。*

注意

電池の不適切な使用により、液漏れや破裂が生じる可能性があります。以下の手順に従ってください。

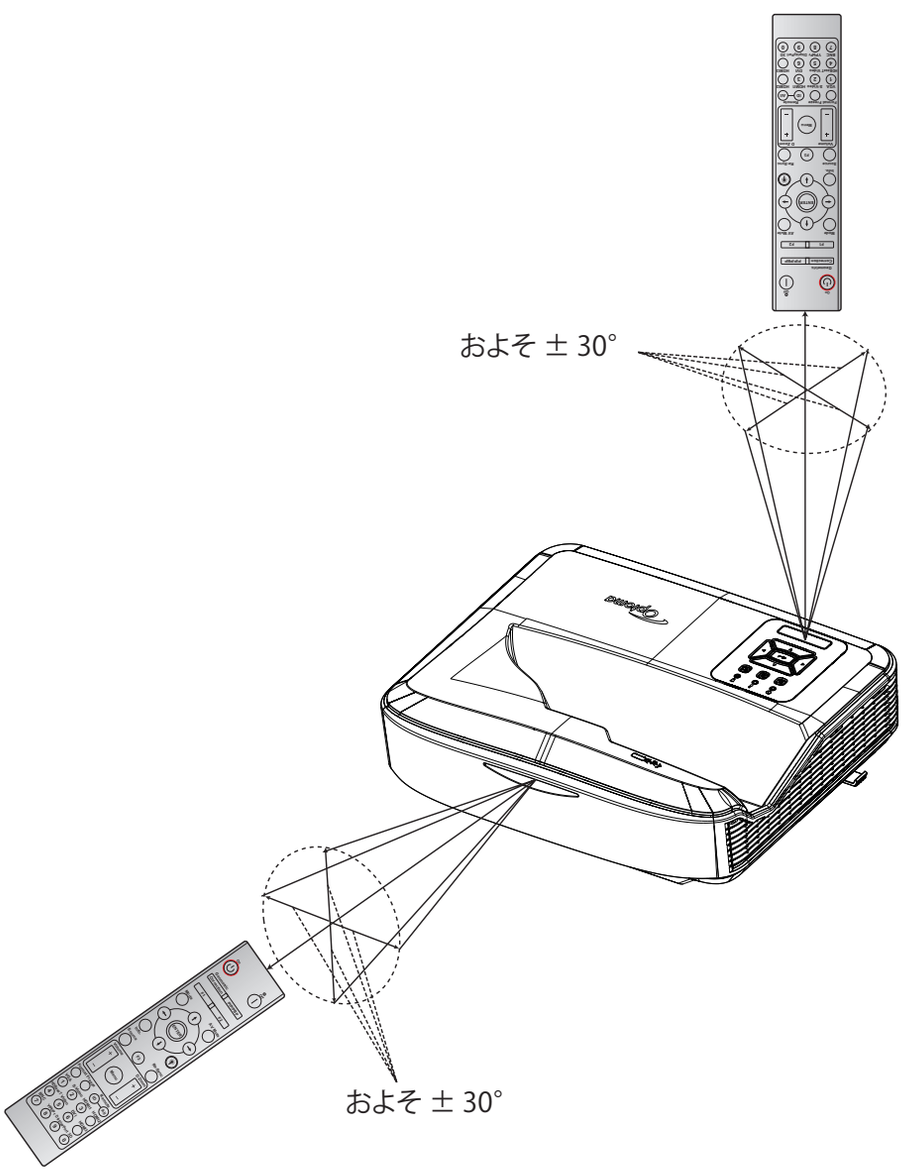
- 異なる種類の電池を混ぜないでください。電池の種類によって特性が異なります。
- 新しい電池を古い電池と混ぜないでください。新旧を混合すると、新しい電池の寿命を縮めたり、古い電池の液漏れが生じたりします。
- 使用済みの電池は早めに取り外してください。電池からの溶液は皮膚に触れると発疹を起こす可能性があります。液漏れを発見した場合は、布で完全に拭き取ってください。
- 当製品に付属の電池は、保存状況によっては寿命が短い場合があります。
- リモコンを長期間使用しない場合は、電池を外してください。
- 電池を廃棄する際は、お住まいの地域や国の関連法規に従ってください。

設定と設置

有効範囲

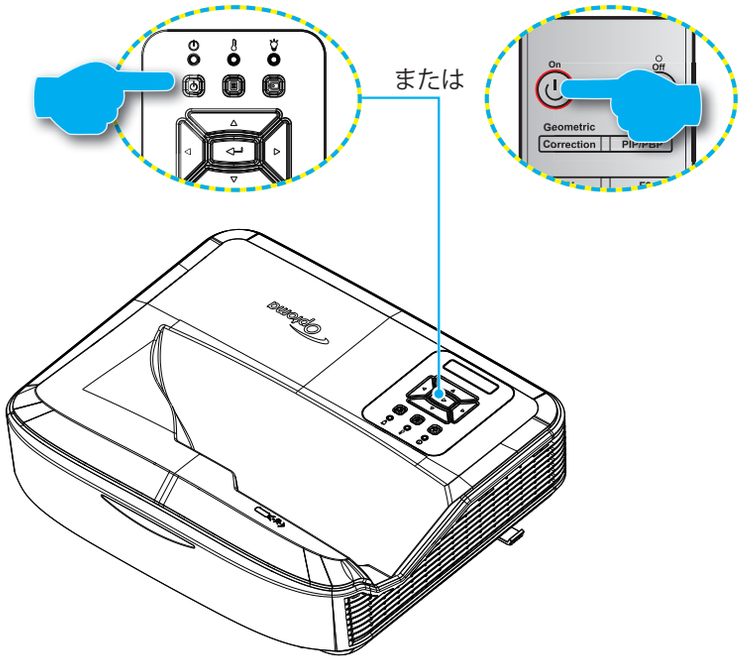
赤外線 (IR) リモコンセンサーはプロジェクター上部にあります。プロジェクターのIRリモコンセンサーが正しく機能するよう、リモコンはセンサーに対して垂直から60度以内の角度でご使用ください。リモコンとセンサーの距離は、12メートル以内にしてください。

- 赤外線ビームが届かなくなるので、リモコンとIRセンサーの間には障害物が無いようにしてください。
- リモコンのIR伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないようにしてください。
- リモコンは蛍光灯から2m以上離さないと正しく動作しない場合があります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しない場合があります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しない場合があります。
- リモコンをスクリーンに向けるときは、スクリーンまでの有効距離が5 m 以内であれば反射したIRビームがプロジェクターに届きます。ただし、有効距離はスクリーンによって異なります。



プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源を入れる/切る



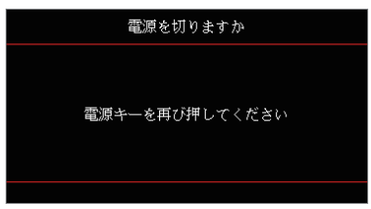
電源オン

1. 電源コードと信号/ソースケーブルをしっかりと接続します。接続が済むと、電源LEDが赤く点灯します。
2. プロジェクターキーパッドまたはリモコン上の「⏻」ボタンを押して、プロジェクター電源をオンにします。
3. スタートアップ画面が10秒間ほど表示され、電源LEDが青色に点滅します。

注: *初めてプロジェクターの電源を入れると、使用言語、投写方向、その他の設定を行うよう求められます。*

電源オフ

1. プロジェクターをオフにするには、プロジェクターのキーパッドの「⏻」ボタンまたはリモコンの「 I 」ボタンを押します。
2. 以下のメッセージが表示されます。



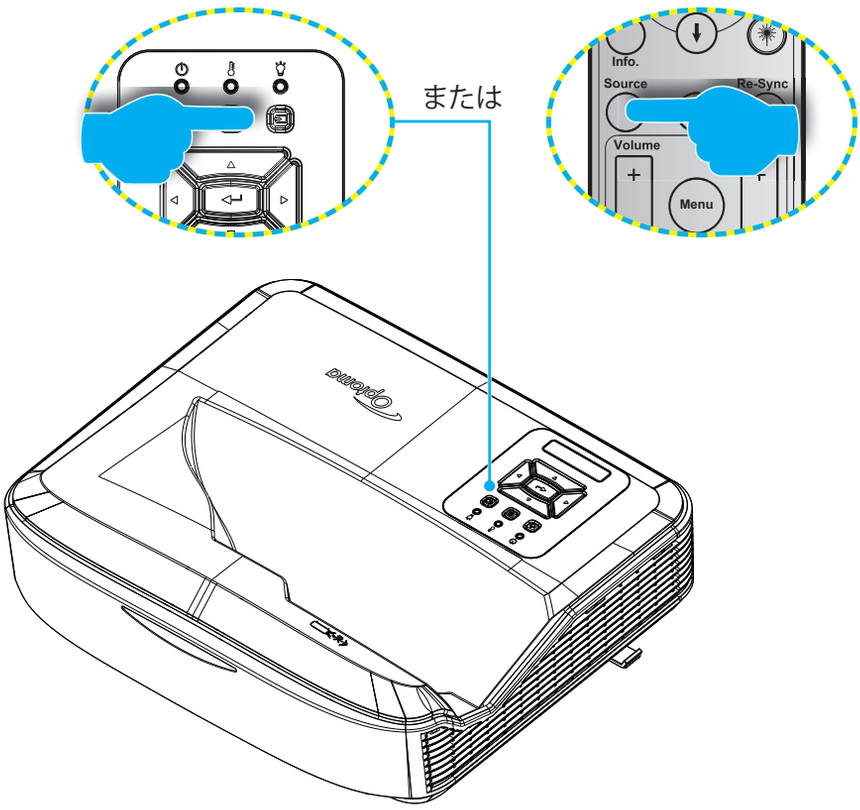
3. 「⏻」または「 I 」ボタンを再び押して確認します。押さないと15秒後にメッセージが消えます。「⏻」 または「 I 」ボタンを 再度押すと、プロジェクターはシャットダウンされます。
4. 冷却ファンは約10秒間作動し続けて行うと、電源LEDが青色に点滅します。電源LEDが赤色になると、プロジェクターはスタンバイモードになります。プロジェクターの電源を入れ直したい場合、プロジェクターが冷却サイクルを終了して、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、「⏻」 ボタンを再度押すとプロジェクターをオンにすることができます。
5. 電源コードをコンセントおよびプロジェクターから外します。

注: *電源オフ直後に、プロジェクターをオンにする行為は推奨されません。*

プロジェクターを使用する

入力ソースを選択する

スクリーンに表示したいソース（コンピューター、ノートブック、ビデオプレーヤーなど）をオンにします。
このプロジェクターはソースを自動検知します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターのキーパッドの「⊐」ボタンまたはリモコンの「ソース」ボタンを押して、必要な入力を選択します。

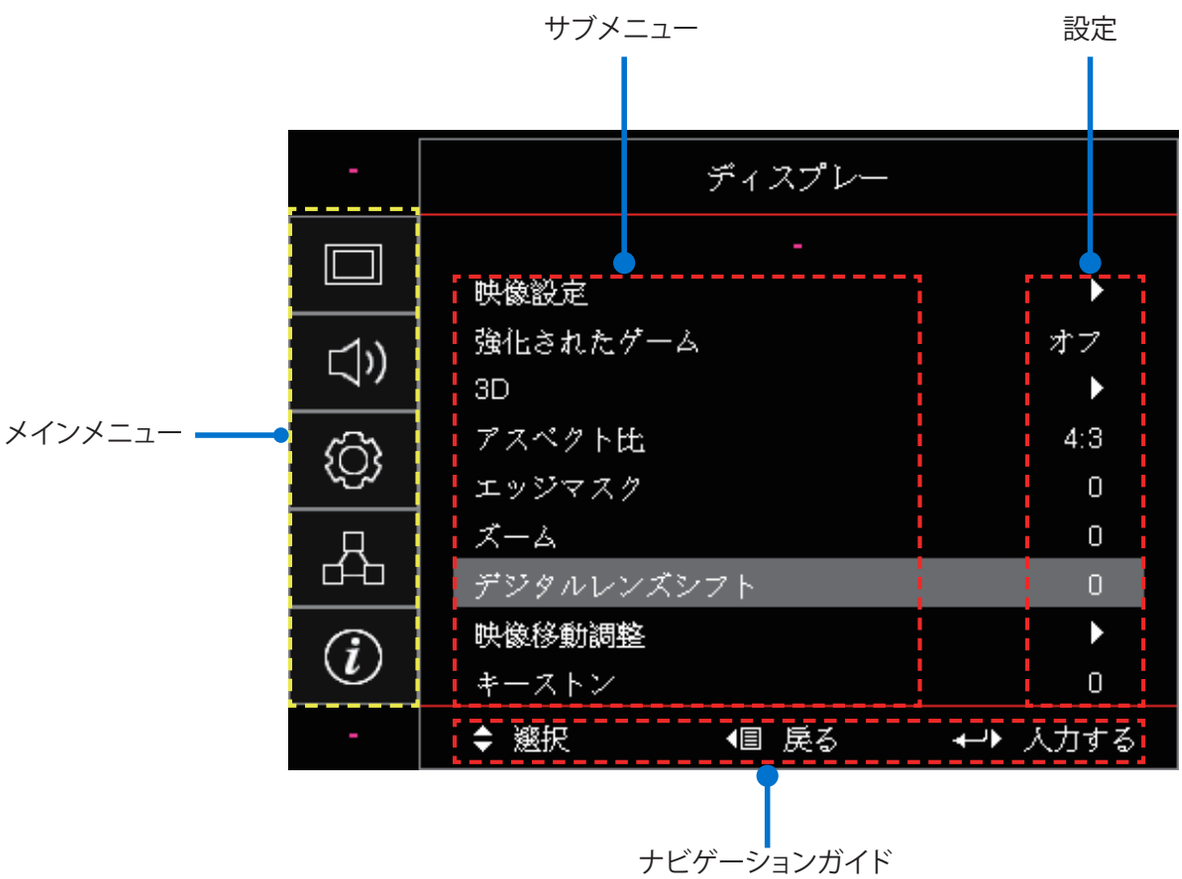


プロジェクターを使用する

メニュー項目間での移動および機能

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。このプロジェクタはソースを自動検知します。

1. OSDメニューを起動するには、プロジェクターキーパッドの「▤」ボタンまたはリモコンの「**メニュー**」ボタンを押します。
2. OSDが表示されたら、▲▼キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページで選択するには、プロジェクターキーパッドの 「↵」 ボタンまたはリモコンの「**ENTER**」ボタンを押して、サブメニューに移行します。
3. ▲▼キーを使ってサブメニュー内の必要な項目を選び、 「↵」 または「**ENTER**」ボタンを押して詳細設定を確認します。◀▶キーで設定を調節します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. 「↵」 または「**ENTER**」ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了には、もう一度「▤」 または「**メニュー**」ボタンを押します。OSDメニューが閉じられ、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



プロジェクターを使用する

OSDメニューツリー

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー2	サブメニュー3	サブメニュー4	値
ディスプレー	映像設定	ディスプレーモード			プレゼンテーション
					ブライト
					HDR
					HLG
					シネマ
					PC
					DICOM SIM
					ブレンド
					ユーザー
					3D
		壁色補正			オフ [デフォルト]
					黒板
					ライトイエロー
					ライトグリーン
					ライトブルー
					ピンク
					グレー
		ダイナミックレンジ	HDR/HLG		オフ
					自動 [デフォルト]
			HDR モード		ブライト
					標準 [デフォルト]
					ムービー
					ディテール
			HLG Picture Mode		ブライト
					標準 [デフォルト]
					ムービー
					ディテール
		輝度			-50 ~ 50
		コントラスト			-50 ~ 50
		シャープネス			1 ~ 15
		色の濃さ			-50 ~ 50
		色あい			-50 ~ 50

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー2	サブメニュー3	サブメニュー4	値
ディスプレー	映像設定	ガンマ	フイルム		
			ビデオ		
			グラフィック		
			標準 (2.2)		
			1.8		
			2.0		
			2.4		
			2.6		
		色設定	BrilliantColor™		1 ~ 10
			色温度		Warm
					標準
					クール
					Cold
			カラーマッチング	色の濃さ	赤 [デフォルト]
					緑
					青
					シアン
					黄色
					マゼンタ
					白
				色あい	-50 ~ 50 [デフォルト: 0]
				彩度	-50 ~ 50 [デフォルト: 0]
				ゲイン	-50 ~ 50 [デフォルト: 0]
				リセット	キャンセル [デフォルト]
					OK
				終了	
			RGBゲイン/バイアス	赤ゲイン	-50 ~ 50
				緑ゲイン	-50 ~ 50
				青ゲイン	-50 ~ 50
				赤バイアス	-50 ~ 50
				緑バイアス	-50 ~ 50
				青バイアス	-50 ~ 50
				リセット	キャンセル [デフォルト]
					はい
				戻る	
			カラースペース [非HDMI 入力]		自動 [デフォルト]
					RGB
					YUV
			カラースペース [HDMI 入力]		自動 [デフォルト]
					RGB(0～255)
					RGB(16～235)
					YUV

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー2	サブメニュー3	サブメニュー4	値
ディスプレイ	映像設定	信号	自動		オフ
					オン [デフォルト]
			周波数		-50 ~ 50 (信号に依存) [デフォルト:0]
			フェーズ		0 ~ 31 (信号に依存) [デフォルト:0]
			水平位置		-50 ~ 50 (信号に依存) [デフォルト:0]
			垂直位置		-50 ~ 50 (信号に依存) [デフォルト:0]
		ブライトネスモード	Dynamic Black		オフ / オン (0 ~ 70%)
			エコ		
			低電力モード		100%~20%, 5%刻み [デフォルト:100%]
			低輝度モード		85% ~ 30%, 5%刻み
		リセット	リセット		キャンセル [デフォルト]
					ON
	強化されたゲーム				オン
					オフ [デフォルト]
	3D	3Dモード			オフ
					オン [デフォルト]
		3D Tech			DLPリンク [デフォルト]
					オフ
		3D→ 2D			3D [デフォルト]
					L
					R
		3D映像フォーマット			自動 [デフォルト]
					Side By Side
					Top and Bottom
					Frame Sequential
		3D同期反転			オン
					オフ [デフォルト]
		リセット			キャンセル [デフォルト]
					OK
	アスペクト比				4:3
					16:9
					16:10
					LBX
					Native
					自動 [デフォルト]

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー2	サブメニュー3	サブメニュー4	値
ディスプレー	エッジマスク				0 ~ 10 [デフォルト: 0]
	ズーム				-5 ~ 25 [デフォルト: 0]
	デジタルレンズシフト	V			-30 ~ 30 [デフォルト: 0]
	映像移動調整	H			-100 ~ 100 [デフォルト: 0]
		V			-100 ~ 100 [デフォルト: 0]
	ジオメトリ補正	4コーナー			
		水平キーストン			-40 ~ 40ステップ (-10 ~ 10度) [デフォルト：0]
		垂直キーストン			-40 ~ 40ステップ (-10 ~ 10度) [デフォルト：0]
		リセット			キャンセル [デフォルト]
					OK
オーディオ	音声設定				自動 [デフォルト]
					内蔵スピーカー
					オーディオ出力
	ミュート				オフ [デフォルト]
					オン
	Mic				オフ
					オン [デフォルト]
	音量				0 ~ 10 [デフォルト: 5]
	マイクボリューム				0 ~ 10 [デフォルト: 5]
設定	設置モード				フロント [デフォルト]
					リア
					天井-上部
					リア-上部
	アスペクト				16:9
					16:10 [デフォルト]
	フィルター設定	エアフィルター使用時間			(読み込み専用)
		オプションエアフィルターの設置			はい
					いいえ [デフォルト]
		エアフィルター寿命			オフ
					300時間
					500時間 [デフォルト]
					800時間
					1000時間
		エアフィルター使用時間リセット			キャンセル [デフォルト]
					はい

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー2	サブメニュー3	サブメニュー4	値
設定	電源設定	電源探知オートパワーオン			オフ [デフォルト]
					オン
		信号探知オートパワーオン			オフ [デフォルト]
					オン
		タイマー電源オートパワーオフ(分)			0 ~ 180 (1分刻み) [デフォルト:20]
		スリープタイマー(分)			0 ~ 990 (30分刻み) [デフォルト:0]
					いいえ [デフォルト]
					常時オン
		電源モード(スタンバイ)			アクティブ
					エコ [デフォルト]
	セキュリティ	セキュリティ			オン
					オフ [デフォルト]
		セキュリティタイマー	月		
			日		
			時間		
		パスワード変更			
	HDMI Link設定	HDMI Link			オフ
					オン
	テストパターン				グリーングリッド
					マゼンタグリッド
					ホワイトグリッド
					白
					オフ [デフォルト]
	リモコン設定	リモコン受光設定			オン [デフォルト]
					オフ
		リモートコード			00~99

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー2	サブメニュー3	サブメニュー4	値
設定	リモコン設定	F1			テストパターン
					輝度
					コントラスト
					スリープタイマー
					カラーマッチング
					色温度
					ガンマ
					設置モード
					デジタルレンズシフト[デフォルト]
		F2			テストパターン
					輝度 [デフォルト]
					コントラスト
					スリープタイマー
					カラーマッチング
					色温度
					ガンマ
					設置モード
					デジタルレンズシフト
		F3			テストパターン
					輝度
					コントラスト
					スリープタイマー［デフォルト］
					カラーマッチング
					色温度
					ガンマ
					設置モード
					デジタルレンズシフト
	プロジェクターID				00 ~ 99

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー2	サブメニュー3	サブメニュー4	値
設定	オプション	言語			English
					Deutsch
					Français
					Italiano
					Español
					Português
					Polski
					Nederlands
					Svenska
					Norsk/Dansk
					Suomi
					ελληνικά
					繁體中文
					簡体中文
					日本語 [デフォルト]
					한국어
					Русский
					Magyar
					Čeština
					عـربي
					ไทย
					Türkçe
					فارســی
					Tiếng Việt
					Bahasa Indonesia
					Română
					Slovenčina
		メニュー設定	メニュー位置		左上
					右上
					中央 [デフォルト]
					左下
					右下
			メニュータイマー		オフ
					5 秒
					10 秒 [デフォルト]
		Auto Source			オフ [デフォルト]
					オン

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー2	サブメニュー3	サブメニュー4	値
設定	オプション	入力ソース			HDMI 1
					HDMI 2
					VGA
		入力名	HDMI 1		デフォルト [デフォルト]
					カスタム
			HDMI 2		デフォルト [デフォルト]
					カスタム
			VGA		デフォルト [デフォルト]
					カスタム
		高地モード			オフ [デフォルト]
					オン
		ディスプレーモードロック			オフ [デフォルト]
					オン
		キーパッドロック			オフ [デフォルト]
					オン
		信号表示			オフ [デフォルト]
					オン
		ロゴ			デフォルト [デフォルト]
					ロゴ無し
					ユーザー
		背景色			なし
					青 [デフォルト]
					赤
					緑
					グレー
					ロゴ
		HDMI 設定	EDID リマインダー		オフ
					オン [デフォルト]
			HDMI 1 EDID		1.4 [デフォルト]
					2.0
			HDMI 2 EDID		1.4
					2.0 [デフォルト]
	リセット	OSDをリセット			キャンセル [デフォルト]
					OK
		初期状態にリセット			キャンセル [デフォルト]
					OK

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー2	サブメニュー3	サブメニュー4	値
ネットワーク	LAN	ネットワーク情報			(読み込み専用)
		MACアドレス			(読み込み専用)
		DHCP			オフ [デフォルト]
					オン
		IPアドレス			192.168.0.100 [デフォルト]
		サブネットマスク			255.255.255.0 [デフォルト]
		ゲートウェイ			192.168.0.254 [デフォルト]
		DNS			192.168.0.51 [デフォルト]
		リセット			キャンセル [デフォルト]
					OK
	コントロール	Crestron			オフ
					オン [デフォルト] **注:** *ポート 41794*
		Extron			オフ
					オン [デフォルト] **注:** *ポート 2023*
		PJ リンク			オフ
					オン [デフォルト] **注:** *ポート 4352*
		AMX デバイス検索			オフ
					オン [デフォルト] **注:** *ポート 9131*
		Telnet			オフ
					オン [デフォルト] **注:** *ポート 23*
		HTTP			オフ
					オン [デフォルト] **注:** *ポート 80*

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー2	サブメニュー3	サブメニュー4	値
情報	制御				
	シリアル番号				
	入力源				
	解像度				00x00
	リフレッシュレート				0.00 Hz
	ディスプレーモード				
	リモートコード				
	リモートコード(アクティブ)				00~99
	電源モード(スタンバイ)				
	光源使用時間				
	ネットワーク情報				00~99
	IPアドレス				
	プロジェクターID				
	エアフィルタ使用時間				
	ブライトネスモード				
	FWバージョン	システム			
		LAN			
		MCU			

プロジェクターを使用する

ディスプレーメニュー

映像設定メニュー

ディスプレーモード

さまざまな画像タイプに最適化されたいくつかのプリセット設定が用意されています。

- **プレゼンテーション：**このモードはPCに接続して聴衆の前で表示するのに適しています。
- **ブライト ：**PC入力に対する最大輝度。
- **HDR / HLG:** 高ダイナミックレンジ (HDR) / ハイブリッドログガンマ (HLG) コンテンツをデコードします。このモードはHDR/HLGが「自動」になっていると、自動的に有効になります (そしてHDR/HLGコンテンツがプロジェクターに送信されます - 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HDR/HLGゲーム、4K UHDストリーミングビデオ)。HDR/HLGモードが有効の場合、その他の表示モード (映画、リファレンスなど) は選択できません。これは、HDR/HLGはカラー精度が高くこれら他の表示モードでの色の性能を超えているからです。

注：*EDID　2.0が選択されたとき、HDMI 1/2はHDR / HLG 形式に対応可能です。*

- **シネマ：**映画を見るのに最高なカラーを提供します。
- **PC ：** 標準化された正確なカラーです。
- **DICOM SIM.：**このモードでは、レントゲン写真、MRIなど白黒の医療画像を投影できます。
- **ブレンド ：**ブレンディングアプリケーションに適したビデオモードです。
- **ユーザー：**ユーザー設定を適用します。
- **3D：**3D効果を体験するには3Dグラスが必要で、PC/ポータブルデバイスが120 Hz信号出力クアッドバッファグラフィックスカードを装備し、3Dプレーヤーがインストールされている必要があります。

壁色補正

この機能を使用すると壁の色に応じて最適な映像が得られます。オフ、黒板、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブル ー、ピンク、グレーから選択します。

ダイナミックレンジ

4K Blu-rayプレーヤーおよびストリーミングデバイスからのビデオを表示する際のハイダイナミックレンジ (HDR) / ハイブリッドログガンマ(HLG)設定値および効果を設定します。

注：*HDMIのみダイナミックレンジ機能に対応します。*

➤ **HDR/HLG**

- **オフ：**HDR/HLG処理をオフにします。オフにすると、プロジェクターはHDR/HLGコンテンツのデコードをしません。
- **自動：**HDR/HLG信号を自動検知します。

➤ **HDRモード / HLG Picture Mode**

- **ブライト ：**より明るい高彩度のカラーには、このモードを選択します。
- **標準：**暖色と寒色のバランスの取れた自然な色合いには、このモードを選択します。
- **ムービー：**よりよいディテールおよびシャープな画像には、このモードを選択します。
- **ディテール：**信号はOETF変換から提供され、最適なカラーマッチングが行われます。

注：

- ***HDRモード** は、入力信号がHDRの場合にHDRレンダリング効果を調節します。同様に、**HLG Picture Mode**は、入力信号がHLGの場合にHLGレンダリング効果を調節します。*
- ***HDRモード**は、入力信号がHDRの時のみ利用可能で、**HLG Picture Mode**はグレーアウト表示され、逆のモードでも同様です。*

プロジェクターを使用する

輝度

画像の輝度を調整します。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部(黒)と最明部(白)の差の度合いを調整します。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

色の濃さ

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

ガンマ

ガンマ曲線のタイプを設定します。初期設定および微調整が完了したら、ガンマ調整を利用して画像出力を最適化できます。

- **フイルム：**ホームシアター用。
- **ビデオ：**ビデオまたはTVソース用。
- **グラフィック：**PCまたは写真ソース用。
- **標準 (2.2)：**標準的な設定。
- **1.8/2.0/2.4/2.6：**特定のPC / 写真ソース用。

  注：*これらオプションは以下の場合にのみ有効です。*
  - *3Dモード機能が無効。*
  - ***壁色補正**設定が**黒板**ではないこと。*
  - ***表示モード**設定が**DICOM SIM.**、**HDR**、**HLG**ではないこと。*

色設定

色設定を行います。

- **BrilliantColor™：**新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の鮮やかなカラーを実現します。
- **色温度：**色温度を、Warm、標準、クール、Coldの中から選びます。
- **カラーマッチング：**以下のオプションから選びます。
  - カラー：画像の赤 (R)、緑(G)、青(B)、シアン(C)、黄(Y)、マゼンタ(M)、白(W)レベルを調節します。
  - 色あい：赤と緑のカラーバランスを調整します。
  - 彩度：ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。
  - ゲイン：画像の輝度を調節します。
  - リセット：カラーマッチングを工場デフォルト値に戻します。
  - 終了：カラーマッチングメニューを閉じます。
- **RGBゲイン/バイアス：**この設定では、画像の明るさ (ゲイン)およびコントラスト (バイアス) を構成できます。
  - リセット：RGBゲイン/バイアスを工場デフォルト値に戻します。
  - 戻る：「RGBゲイン/バイアス」メニューを閉じます。
- **カラースペース (非HDMI入力のみ)：**以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します。
  自動/RGB/YUV
- **カラースペース (HDMI入力のみ)：**以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します。
  自動、RGB (0 ~255)、RGB (16 ~ 235)およびYUV

信号

信号オプションを調節します。

- **自動：**信号を自動的に設定します（周波数とフェーズ項目はグレイアウト表示されます）。自動が無効の場合は、周波数とフェーズ項目が表示され調節して設定保存が可能となります。
- **周波数：**表示データ周波数を、お持ちのコンピュータのグラフィックカードの振動数に適合するよう変更します。画像が垂直にちらつくように見える場合のみ、この機能を使用してください。
- **フェーズ：**表示の信号タイミングをグラフィックカードと同期させます。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。
- **水平位置：**画像の水平位置を調整します。
- **垂直位置：**画像の垂直位置を調整します。

注：*このメニューは、入力ソースがRGB/コンポーネントの時のみ利用可能です。*

ブライトネスモード

ブライトネスモード設定を調節します。

- **Dynamic Black：**最適なコントラスト性能が得られるよう、画像輝度を自動調節します。
- **エコ：**「エコ」を選択するとプロジェクタの光源の光量を減らして、電力消費を低減し、光源の寿命を伸ばすことができます。
- **低電力モード：**輝度モードでの電力パーセンテージを選択します。
- **低輝度モード：**コンスタント照度は、LED輝度の強度を調節して、時間経過に対しての輝度を一定に保ちます。

リセット

色設定を工場デフォルト値に戻します。

強化されたゲームメニュー

強化されたゲーム

この機能を使って、ゲームの最中にシステムが 反応時間 (入力遅延) を減少させることを有効/無効化します。

- **オン：**画像の遅延を低減して画像が同時に表示されるようにします。
- **オフ：**遅延の低減はありません。

注：*強化されたゲーム機能をオンにすると、3D、 アスペクト比、 キーストン、4コーナー、ズーム、 スクリーンタイプは利用できません。*

プロジェクターを使用する

3Dメニュー

注:

- *このプロジェクターは、DLP-リンク 3Dソリューション装備の3D対応プロジェクターです。*
- *ビデオ鑑賞の前に、お持ちの3DグラスがDLP-リンク 3D用であることを確認してください。*
- *このプロジェクターは、HDMI1/HDMI2/VGAポート経由でFrame Sequential（ページフリップ) 3Dに対応します。*
- *3D モードを有効にするには、入力フレームレートは60 Hzのみが可能で、これ以外のフレームレートには対応しません。*
- *最適なパフォーマンスには、解像度1920 x 1080 がお勧めです。4K (3840 x 2160) 解像度は3Dモードでは対応しないことにご注意ください。*

3Dモード

このオプションで3D機能をオン・オフします。

- **オフ:**「オフ」を選択すると3Dモードがオフになります。
- **オン:**「オン」を選択すると、3Dモードがオンとなります。

3D Tech

このオプションで3Dテクノロジーを選択します。

- **DLP-リンク :**DLP 3Dメガネの最適設定を使用するには、これを選択します。
- **オフ:**DLP-リンク機能をオフにします。

3D → 2D

このオプションで、3Dコンテンツがスクリーンに表示される方法を選択します。

- **3D:**3D信号を表示します。
- **L (左):**3Dコンテンツの左のフレームを表示します。
- **R (右):**3Dコンテンツの右のフレームを表示します。

3D映像フォーマット

このオプションで、適切な3D形式コンテンツを選択します。

- **自動:**3D識別信号が検出されると、3D形式が自動的に選択されます。
- **Side By Side :**3D信号を[Side By Side]形式で表示します。
- **Top and Bottom :** 3D信号を[Top and Bottom]形式で表示します。
- **Frame Sequential :** 3D信号を[Frame Sequential]形式で表示します。

3D同期反転

このオプションで、3D同期反転機能をオン・オフします。

リセット

3D設定を工場デフォルト値に戻します。

- **キャンセル:**選択するとリセットがキャンセルされます。
- **OK :** 選択すると、3D設定が工場デフォルト値に戻ります。

プロジェクターを使用する

アスペクト比メニュー

アスペクト比

以下のオプションから、表示される画像のアスペクト比を選択します。

- **4:3：**この形式は、4 x 3入力ソース用です。
- **16:9：**この形式は、HDTVおよびDVD対応のようなワイドス画面テレビでの16:9入力ソース用です。
- **16:10** (WUXGAモデルのみ対象)：ワイドスクリーンのノートパソコンなど、16:10比の映像入力用です。
- **LBX：**このフォーマットは、16 x 9以外のレターボックスソース、および、フル解像度を使って2.35:1のアスペクト比を表示するために外部16 x 9レンズをお使いのユーザー向けです。
- **Native：** このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- **自動：**適切な表示形式が自動的に選ばれます。

注：

- *LBXモードの詳細情報：*
  - *一部のレターボックス形式のDVDは16x9 TV向けには強化されていません。その場合は、16:9モードで表示すると、映像は正しく表示されません。この状況では、4:3モードを使ってDVDを表示してみてください。コンテンツが4:3でない場合は、16:9ディスプレイの映像の周囲に黒い帯が現れます。このタイプのコンテンツでは、LBXモードを使用して16:9ディスプレイに映像を満たすことができます。*
  - *外部アナモフィックレンズを使用する場合、このLBXモードでアナモフィックワイド対応2.35:1コンテンツを見ることもでき(アナモフィックDVDおよびHDTVフィルムソースを含む)、ワイド2.35:1映像を16x9ディスプレイ向けに強化します。この場合では、黒い帯はありません。光源のパワーと垂直解像度は完全に活用されます。*

1920 x 1200 DMD (スクリーンタイプ 16:10)用のWUXGAスケーリング表：

注：

- *対応なスクリーンタイプ16:10 (1920 x 1200)または16:9 (1920 x 1080)です。*
- *スクリーンタイプが16:9の場合、16 x 10形式は利用できません。*
- *スクリーンタイプが16:10の場合、16 x 9形式は利用できません。*
- *自動オプションを選択すると、表示モードは自動的に変更されます。*

16:10スクリーン	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4 :3	1600 x 1200にスケーリングします。				
16 : 9	1920 x 1080にスケーリングします。				
16 :10	1920 x 1200にスケーリングします。				
LBX	1920 x 1440にスケーリングし、次に画像を中央に1920 x 1200で表示				
Nativeモード	- 1:1中央マッピング。 - スケーリングはされず、入力ソースに基づいた解像度で表示されます。				
自動	- この形式が選択されると、スクリーンタイプは自動的に16:10 (1920 x 1200)となります。 - ソースが4:3の場合、スクリーンタイプは1600 x 1200にスケーリングされます。 - ソースが16:9の場合、スクリーンタイプは1920 x 1080にスケーリングされます。 - ソースが16:10の場合、スクリーンタイプは1920 x 1200にスケーリングされます。				

プロジェクターを使用する

WUXGA 自動マッピングルール (スクリーンタイプ16:10):

自動	入力解像度		自動/スケール	
	水平解像度	垂直解像度	1920	1200
4:3	640	480	1600	1200
	800	600	1600	1200
	1024	768	1600	1200
	1280	1024	1600	1200
	1400	1050	1600	1200
	1600	1200	1600	1200
ワイド型ノートブック	1280	720	1920	1080
	1280	768	1920	1152
	1280	800	1920	1200
SDTV	720	576	1350	1080
	720	480	1620	1080
HDTV	1280	720	1920	1080
	1920	1080	1920	1080

WUXGA スケーリング表 (スクリーンタイプ16:9):

16:10スクリーン	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4 : 3	1440 x 1080にスケーリングします。				
16 : 9	1920 x 1080にスケーリングします。				
LBX	1920 x 1440にスケーリングし、次に画像を中央に1920 x 1080で表示				
ネイティブモード	- 1:1中央マッピング。 - スケーリングはされず、入力ソースに基づいた解像度で表示されます。				
自動	- この形式が選択されると、スクリーンタイプは自動的に16:9 (1920 x 1080)となります。 - ソースが4:3の場合、スクリーンタイプは1440 x 1080にスケーリングされます。 - ソースが16:9の場合、スクリーンタイプは1920 x 1080にスケーリングされます。 - ソースが16:10の場合、スクリーンタイプは1920 x 1200にスケーリングされ、表示範囲は1920x1080にカットされます。				

WUXGA 自動マッピングルール (スクリーンタイプ16:9):

自動	入力解像度		自動/スケール	
	水平解像度	垂直解像度	1920	1080
4:3	640	480	1440	1080
	800	600	1440	1080
	1024	768	1440	1080
	1280	1024	1440	1080
	1400	1050	1440	1080
	1600	1200	1440	1080
ワイド型ノートブック	1280	720	1920	1080
	1280	768	1800	1080
	1280	800	1728	1080
SDTV	720	576	1350	1080
	720	480	1620	1080
HDTV	1280	720	1920	1080
	1920	1080	1920	1080

プロジェクターを使用する

エッジマスクメニュー

エッジマスク

この機能により、ビデオソースのエッジにあるビデオエンコードノイズが除去できます。

ズームメニュー

ズーム

スクリーンに投写された画像を縮小または拡大します。

デジタルレンズシフトメニュー

デジタルレンズシフト

デジタルレンズシフトは、スクリーンタイプ16:9以下でのみ利用できます。表示エリアは、実際のレンズシフトと同様に、垂直位置で調整可能領域の上限と下限の間に移動します

映像移動調整メニュー

映像移動調整

ズームを調整して、4コーナーが見えるまで投写画像を縮小してから、投写画像を水平 (H)または垂直 (V)方向で調節します。映像移動調整は、スクリーンタイプ16:9以下かつズーム> 0の時に利用可能です。

ジオメトリ補正メニュー

4コーナー

画像を、4コーナーの x および y 位置で指定された範囲に収まるように伸縮させます。

水平キーストン

水平方向の画像の歪を調整し、より方形に近づけます。水平キーストンは、画像左右の境界長さが異なる場合に台形の画像を補正するのに使用されます。これは水平軸上のアプリケーションを対象とします。

垂直キーストン

垂直方向の画像の歪みを調整し、より方形に近づけます。垂直キーストンは、画像の上下が一方に傾いている場合に画像を補正するのに使用されます。これは垂直軸上のアプリケーションを対象とします。

リセット

ジオメトリ補正の設定を工場デフォルト値に戻します。

プロジェクターを使用する

オーディオメニュー

音声設定メニュー

音声設定

音声出力デバイスを選択します。

- **自動：**外部スピーカーが正しく接続されていると、音声はスピーカーから聞こえます。そうでない場合は、音声は内蔵スピーカーから聞こえます。
- **内蔵スピーカー：**常に内蔵スピーカーから聞こえます。
- **オーディオ出力：**常に外部スピーカーから聞こえます。

ミュートメニュー

ミュート

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- **オン：**「オン」を選択して、ミュートをオフに切り替えます。
- **オフ：**「オフ」を選択して、ミュートをオンに切り替えます。

注：*「ミュート」機能は、内蔵および外部スピーカー双方に有効です。*

Micメニュー

Mic

マイクをオン/オフします。

- **オン：**オンを選ぶとマイクがオンになります。
- **オフ：**オフを選ぶとマイクがオフになります。

音量メニュー

音量

音量をレベルを調節します。

マイクボリュームメニュー

マイクボリューム

マイクの音量を調節します。

プロジェクターを使用する

設定メニュー

設置モードメニュー

設置モード

フロント、リア、天井-上部、リア-上部から必要な投写方法を選択します。

アスペクトメニュー

アスペクト

スクリーンタイプを16:9および16:10から選択します。

フィルター設定メニュー

エアフィルター使用時間

エアフィルター時間を表示します。

オプションエアフィルターの設置

警告メッセージを設定します。

- **はい：**使用500時間で警告メッセージが表示されます。
  注：*「エアフィルター使用時間 / エアフィルター寿命 / エアフィルター使用時間リセット」は、「オプションエアフィルターの設置」が「はい」の時のみ表示されます。*
- **いいえ:** 警告メッセージはオフになります。

エアフィルター寿命

エアフィルター交換メッセージが表示されたとき、警告メッセージを表示するか非表示にするかをこの機能で設定できます。使用可能なオプションには、オフ、300時間、500時間、800時間、1000時間があります。

エアフィルター使用時間リセット

エアフィルターの交換または洗浄した後に、エアフィルターカウンターをリセットしてください。

プロジェクターを使用する

電源設定メニュー

電源探知オートパワーオン

「オン」を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC電源が供給されると自動的に電源オンになり、プロジェクターのキーパッドまたはリモコン上の「電源」キーを押す必要はありません。

信号探知オートパワーオン

「オン」を選択すると、信号探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、信号が検知されると自動的に電源オンになり、プロジェクターのキーパッドまたはリモコン上の「電源」キーを押す必要はありません。

注:*「信号探知オートパワーオン」オプションが「オン」の場合、スタンバイモードでのプロジェクターの消費電力は3Wを上回ります。*

タイマー電源オートパワーオフ

秒読みタイマーの間隔を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。プロジェクターは、自動的に秒読み完了後(数分で)電源を切ります。

スリープタイマー(分)

スリープタイマーを設定します。

- スリープタイマー(分)秒読みタイマーの間隔を設定します。プロジェクターに入力される信号の有無にかかわらず、秒読みタイマーが起動します。プロジェクターは、自動的に秒読み完了後(数分で)電源を切ります。
  注:*スリープタイマーは、プロジェクターがオフになる度にリセットされます。*
- **常時オン:**チェックを入れると、スリープタイマーは常時オンになります。

電源モード(スタンバイ)

電源モードを設定します。

- **アクティブ:**アクティブを選ぶと、通常のスタンバイモードに戻ります。
- **エコ:** エコを選択すると、節電モードになります< 0.5 W。

  注:*LAN制御は、*電源モード(スタンバイ)設定がアクティブの時に有効となります。

セキュリティメニュー

セキュリティ

この機能を有効にすると、プロジェクター使用前にパスワード入力が求められます。

- **オン:**「オン」を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティ検証を行います。
- **オフ:**「オフ」を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクターの電源を入れることができます。

セキュリティタイマー

日時(月/日/時)機能で、プロジェクターを使用する時間数を設定できます。この時間を経過すると、パスワード入力が要求されます。

パスワード変更

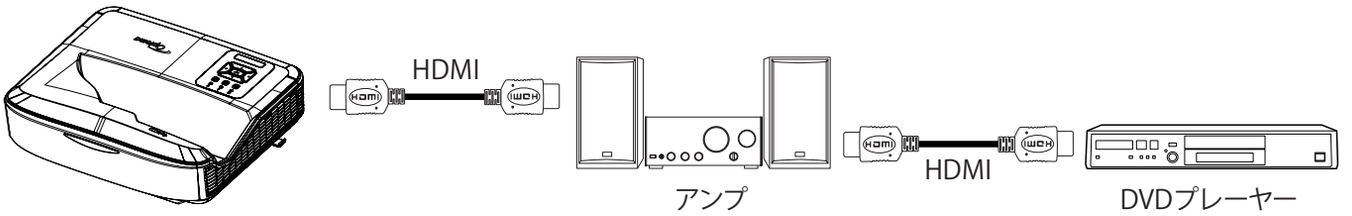
これを使って、プロジェクター電源オンの時にパスワードの設定または変更を行います。

プロジェクターを使用する

HDMI Link設定メニュー

注:

- *HDMI CEC互換デバイスをHDMIケーブルでプロジェクターに接続した場合、プロジェクターのOSDからHDMI Link制御機能を使って、それらの電源も同時にオン・オフ状態を制御できます。これによって、HDMI Link 機能経由で、典型的な構成である1つまたは複数のデバイス(アンプやホームシアターシステムを通してDVDプレーヤープロジェクターに接続されるなど)を同時にオン/オフできます。*



HDMI Link

HDMI Link機能をオン/オフを切り替えます。TVを含む、電源オン設定、電源オフ設定、 オプションは、設定が「オン」に設定されている場合のみ使用可能です。

テストパターンメニュー

テストパターン

テストパターンをグリーングリッド、マゼンタグリッド、ホワイトグリッド、白から選ぶか、この機能を無効にします。

リモコン設定メニュー

リモコン受光設定

リモコン受光設定を行います。

- **オン:**「オン」を選ぶと、プロジェクターは上部および前部のIRレシーバーに向けたリモコンでコントールできます。
- **オフ:**「オフ」を選択すると、プロジェクターがリモコンで操作できせん。「オフ」 を選択すると、キーパッドキーが使用可能になります。

リモートコード

リモートIDボタンを 3秒長押しすると、リモートインジケーター(オフボタン上方)が点滅し、リモートカスタムコードが設定できます。ここで、00 - 99の数字をキーボードの数字キーで入力します。数字入力後、リモートインジケーターが２回早く点滅して、リモートコードが変更されたことを示します。

プロジェクターを使用する

F1/F2/F3

F1、F2、F3に対して、テストパターン、輝度、コントラスト、スリープタイマー、カラーマッチング、色温度、ガンマ、設置モード、デジタルレンズシフトから選んで機能を割り当てます。

プロジェクターIDメニュー

プロジェクターID

メニューを使ってID定義を設定する(範囲0-99)ことができます。これにより、ユーザーは、RS232コマンドを使って個別のプロジェクターを制御できます。

オプションメニュー

言語

多言語OSDメニューを英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ポーランド語、オランダ語、スウェーデン語、ノルウェー語/デンマーク語、フィンランド語、ギリシャ語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、韓国語、ロシア語、ハンガリー語、チェコ語、アラビア語、タイ語、トルコ語、ペルシャ語、ベトナム語、インドネシア語、ルーマニア語、スロバキア語から選択します。

メニュー設定

スクリーン上でのメニュー位置を設定、メニュータイマーも設定します。

- **メニュー位置：**表示スクリーン上のメニュー位置を選択します。
- **メニュータイマー：**OSDメニューが画面に表示される時間を設定します。

Auto Source選択

このオプションを選択すると、プロジェクターが利用可能な入力ソースを自動検出します。

入力ソース

入力ソースをHDMI 1、HDMI 2、VGAから選択します。

入力名

入力に名前を付けて判別しやすくする機能です。利用可能なオプションはHDMI 1、HDMI 2、VGAです。

高地モード

「オン」が選択されると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

ディスプレーモードロック

「オン」または「オフ」を選んで、表示モードのロックまたは解除を行います。

キーパッドロック

キーパッド・ロック機能が「オン」の場合、キーパッドはロックされます。それでも、プロジェクターはリモコンで操作できます。「オフ」を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

信号表示

情報メッセージを非表示にする機能です。.

- **オフ：**「オフ」を選択すると、「検索中」のメッセージが表示されます。
- **オン：**「オン」を選択すると、「情報メッセージ」が非表示になります。

ロゴ

この機能を使用して、必要なスタートアップ画面を設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- **デフォルト：**デフォルトの起動画面です。
- **ロゴ無し：**起動画面でロゴは表示されません。
- **ユーザー：**ロゴをキャプチャするツールが必要です。

プロジェクターを使用する

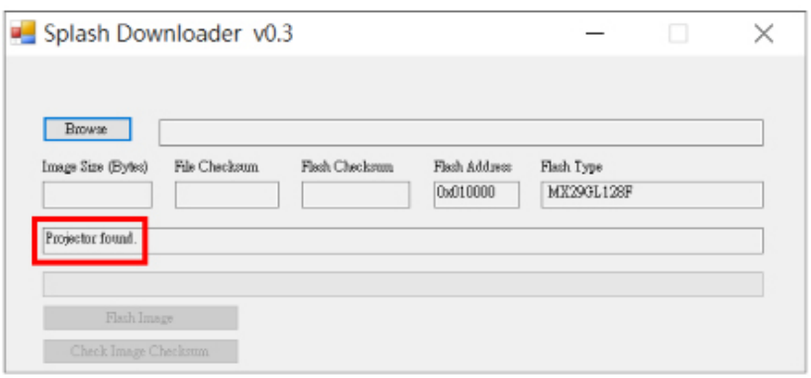
注:

1. プロジェクター設定メニューから、「ロゴ」項目で「ユーザー」を選択します。
2. ダウンロードモードに入るには、以下の手順に従います。

   A: コントロールパネルの「**ENTER**」と「**電源**」ボタンを同時に長押しします。

   B: 電源コードをプロジェクターに接続します。

   C: 全てのLEDが点灯したら、「**ENTER**」と「**電源**」ボタンを放します。
3. プロジェクター(Type Bポート)からの **USB (Type A～B)ケーブル**をコンピューター (Type Aポート)に接続します。
4. **Splash Downloader.exe** (Window OSのみ対応)をダブルクリックします。
5. Splash Downloader実行中、ファームウェアをアップグレードする前にUSBの状態を確認してください。(Projector found)と表示されるはずです。



6. 「**参照**」ボタンをクリックして、ロゴファイル(**PNGファイル形式のみ対応**)。を選択します。ロゴの推奨解像度はデフォルトロゴの解像度(ZU500USTの場合、最大解像度は1920 x 1200)を超えないようにしてください。これは画質を保つためです。そうしないと、ロゴが不鮮明になります。
7. 「**画像の書き込み**」ボタンをクリックします。ファイルがプロジェクターに正常に書き込まれると、画面に「**ダウンロード完了**」と表示されます。
8. プロジェクターの電源コードを抜いて接続し直します。ロゴが正しくアップグレードされたことを確認してください。

背景色

この機能を使って、利用可能な信号がないとき、青、赤、緑、グレー、なし、ロゴの表示画面にします。

注:*背景色が「なし」に設定されると、背景色はブラックとなります。*

HDMI設定

HDMI設定を行います。

- **EDIDリマインダー:**入力ソースがHDMIソースに変更されると、リマインダーメッセージ表示を行う機能を有効にします。
- **HDMI 1 EDID (デフォルトはEDID 1.4):**1080pソース (Xbox 360、Cable Box、Satellite Boxなど)を使用する時、このオプションを選びます。
- **HDMI 2 EDID (デフォルトはEDID 2.0):**1080p HDRソース (Xbox One SまたはPS4など) および4K HDRソース (4K HDR Blu-rayプレーヤー、Roku Ultra 4K、SHIELD TV、Xbox One X、PS4 Proなどを使用する時、このオプション を選びます。

注:*HDMI 2ソースの色が異常、帯表示になる場合は、EDID を1.4に変更してください。*

プロジェクターを使用する

OSDリセットメニュー

OSDをリセット

OSDメニュー設定を工場デフォルト値に戻します。

初期状態にリセット

全ての設定を工場デフォルト値に戻します。

ネットワークメニュー

LANメニュー

ネットワーク情報

ネットワーク接続情報を表示します (読み込みのみ)。

MACアドレス

MACアドレスを表示します(読み込みのみ)。

DHCP

このオプションを使用してDHCP機能を有効または無効にします。

- **オフ:**IP、サブネットマスク、ゲートウェイおよびDNS構成を手動で割当てます。
- **オン:**プロジェクターは、使用されるネットワークからIPアドレスを自動取得します。

注:*OSDを終了すると、入力した値が自動的に適用されます。*

IPアドレス

IPアドレスを表示します。

サブネットマスク

サブネットマスク番号を選択します。

ゲートウェイ

プロジェクターに接続されるネットワークのゲートウェイを表示します。

DNS

DNS番号を表示します。

ウェブブラウザを使用してプロジェクターを制御する方法

1. プロジェクターのDHCPオプションを「オン」にすると、DHCPサーバーが自動的にIPアドレスを割り当てられるようになります。
2. コンピューターでウェブブラウザを開いて、プロジェクターのIPアドレス(「ネットワーク > LAN > IPアドレス」)を入力します。
3. ユーザー名とパスワードを入力してから「ログイン」をクリックします。
   プロジェクターの設定ウェブインターフェースが開きます。

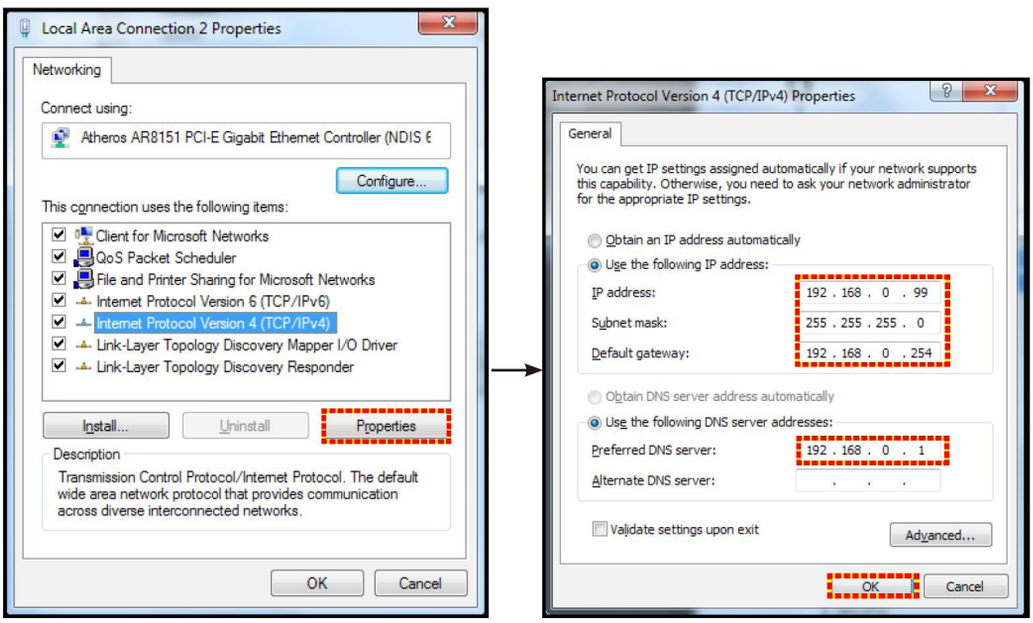
注:

- *ログイン後にユーザー名およびパスワードを変更する必要があります。強度のあるパスワードの使用をお勧めいたします。*
- *このセクションでの手順は、Windows 7オペレーティングシステムに基づいています。*

プロジェクターを使用する

お持ちのコンピューターからプロジェクターに直接接続する場合

1. プロジェクターのDHCPオプションを「オフ」にします。
2. プロジェクター(「Network > LAN」)で、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSを設定します。
3. コンピューターの***ネットワークと共有センター***ページを開き、プロジェクターと同一のネットワークパラメーターをコンピューターに割り当てます。「OK」をクリックしてパラメーターを保存します。



4. コンピューターでウェブブラウザを開いて、アドレスバーにステップ3で割り当てたIPアドレスを入力します。そして、「ENTER」キーを押します。

リセット

LANパラメータの値全てをリセットします。

コントロールメニュー

Crestron

この機能でネットワーク機能を選択します(ポート:41794)。

詳細については、http://www.crestron.com & www.crestron.com/getroomview/にアクセスしてご覧ください。

Extron

この機能でネットワーク機能を選択します(ポート:2023)。

PJ リンク

この機能でネットワーク機能を選択します(ポート:4352)。

AMX デバイス検索

この機能でネットワーク機能を選択します(ポート:9131)。

Telnet

この機能でネットワーク機能を選択します(ポート:23)。

HTTP

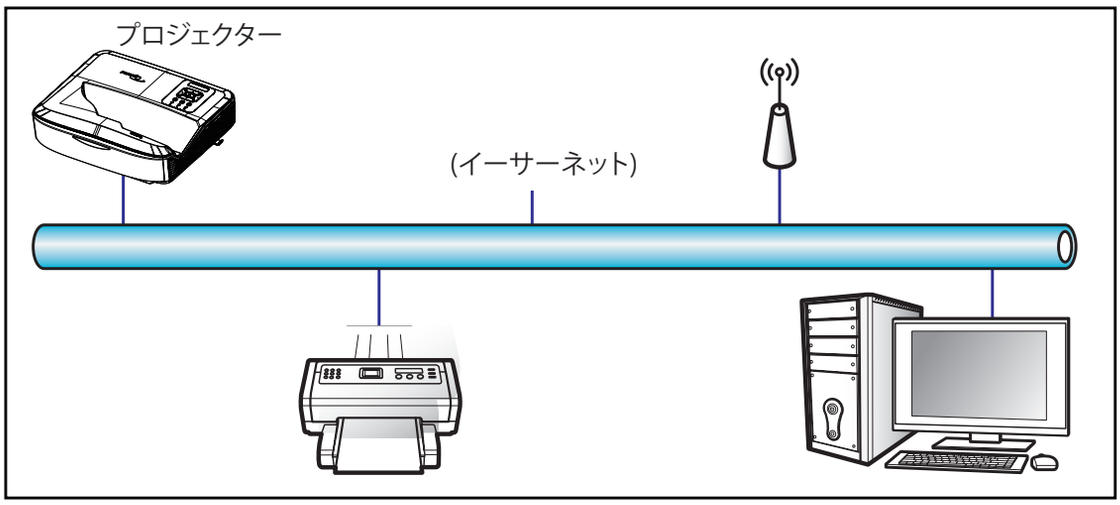
この機能でネットワーク機能を選択します(ポート:80)。

プロジェクターを使用する

コントロール設定メニュー

LAN_RJ45機能

シンプルで簡単な操作ができるよう、プロジェクターは各種ネットワーキングおよびリモート管理機能を備えています。プロジェクターのLAN / RJ45機能は、ネットワーク経由で以下の機能をリモートで管理します。電源オン /オフ、輝度、コントラスト設定。また、ビデオ-ソース、サウンド-ミュートなどのプロジェクター状態情報が表示できます。



有線LANターミナル機能

このプロジェクターは、LAN / RJ45ポート経由でのコンピューターやその他外部デバイスを使って制御でき、Crestron / Extron / AMX (デバイス -検索) / PJリンクと互換性を持っています。

- Crestronは、米国のCrestron Electronics, Inc.の登録商標です。
- Extronは、米国のExtron Electronics, Inc.の登録商標です。
- AMXは、米国のAMX LLCの登録商標です。
- PJLinkは、JBMIAによって日本、米国、その他の国々で商標およびロゴの登録が申請されています。

このプロジェクターは、Crestron Electronicsコントローラおよび関連ソフトウェア（例：RoomView®）の特定コマンドに対応しています。

http://www.crestron.com/

プロジェクターは参照用にExtronデバイス対応に準拠しています。

http://www.extron.com/

このプロジェクターは、AMX デバイス検索 に対応しています。

http://www.amx.com/

このプロジェクターは、PJリンク Class1 (Version 1.00)の全コマンドに対応します。

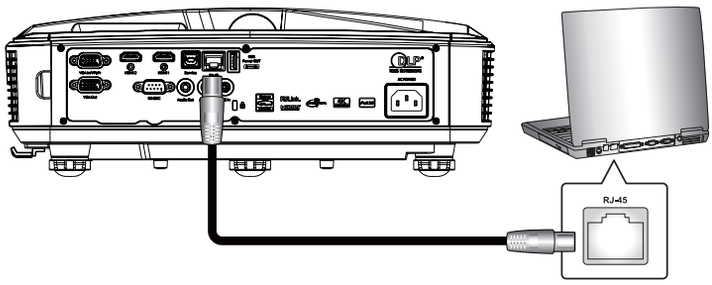
http://pjlink.jbmia.or.jp/english/

LAN / RJ45ポートに接続してプロジェクターをリモートで制御できる各種外部デバイス、並びにそれら外部デバイス用の対応コマンドの詳細情報は、サポート-サービスディレクトリをご参照ください。

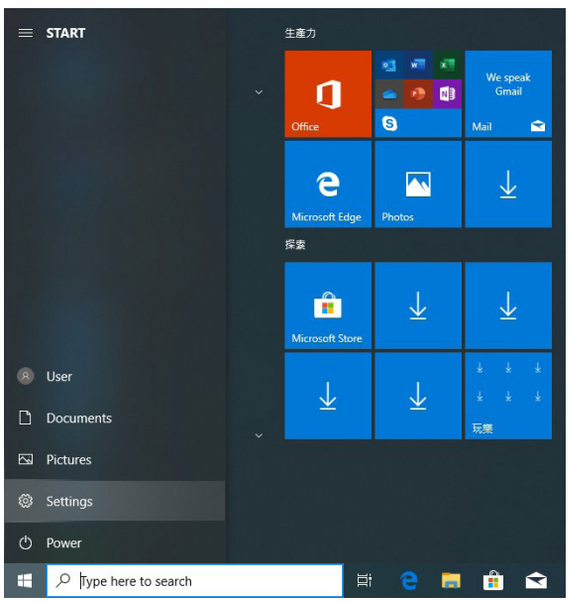
プロジェクターを使用する

LAN RJ45

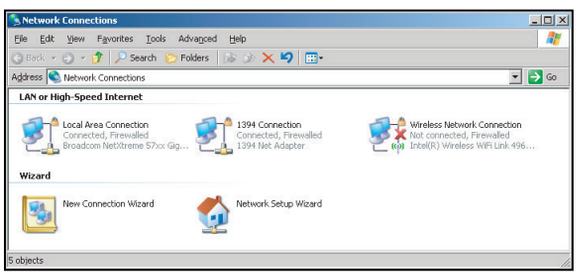
1. RJ45ケーブルを、プロジェクターおよびコンピューターのRJ45ポートに接続します。



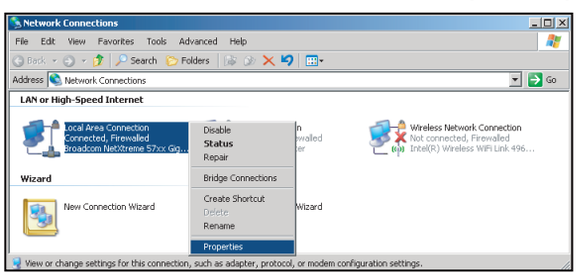
2. コンピューターから、**スタート > 設定 > ネットワークとインターネット**を選択します。



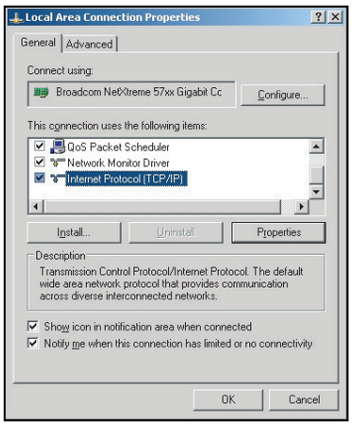
3. **ローカルエリア接続**を右クリックして、**プロパティ**を選択します。



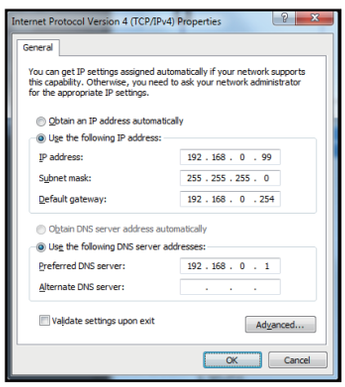
4. **プロパティ** ウィンドウで、**全般 タブ**を選び、**インターネットプロトコル (TCP / IP)**を選びます。



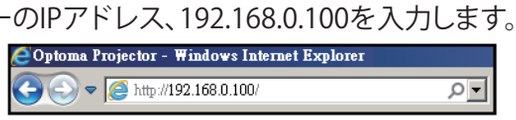
5. 「プロパティ」をクリックします。



6. IPアドレスとサブネットマスクを入力してから、「OK」をクリックします。



7. プロジェクターの「メニュー」ボタンを押します。
8. プロジェクターの「ネットワーク > LAN」を開きます。
9. 以下の接続パラメーターを入力します。
   - DHCP：オフ
   - IPアドレス：192.168.0.100
   - サブネットマスク：255.255.255.0
   - ゲートウェイ：192.168.0.254
   - DNS：192.168.0.51
10. 「ENTER」を押して確定します。
11. Adobe Flash Player 9.0またはそれ以降がインストールされた、Microsoft Internet Explorerなどのウェブブラウザを開きます。
12. アドレスバーに、プロジェクターのIPアドレス、192.168.0.100を入力します。



13. 「ENTER」を押します。

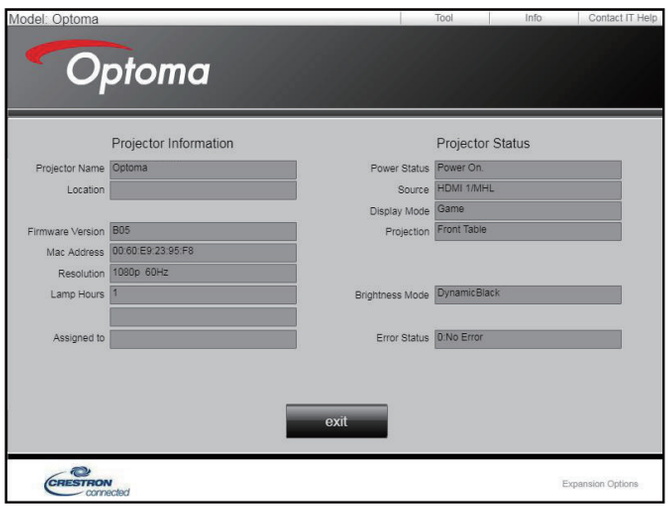
プロジェクターを使用する

プロジェクターはリモート管理用にセットアップされました。LAN / RJ45機能で以下のように表示されます。

「ブラウザ」は既にAdobe Flashプレーヤーに対応しないので、Adobeのリンクから「Flash Playerプロジェクターをダウンロード」アプリケーションをダウンロード・インストールしてください。

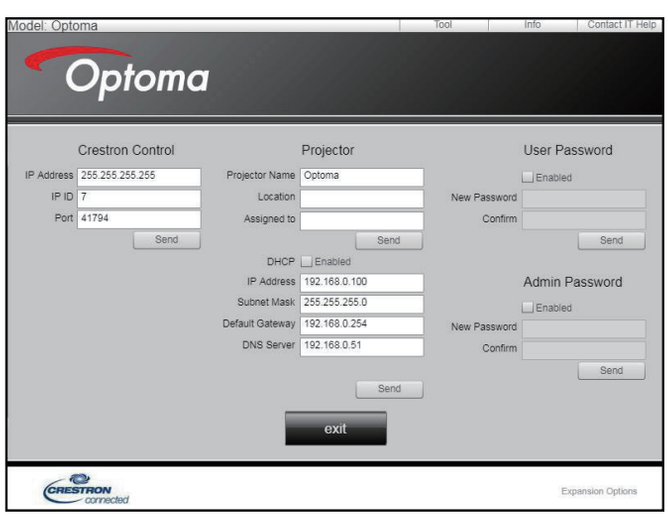
https://www.adobe.com/support/flashplayer/debug_downloads.html。

情報ページ



メインページ

ツールページ



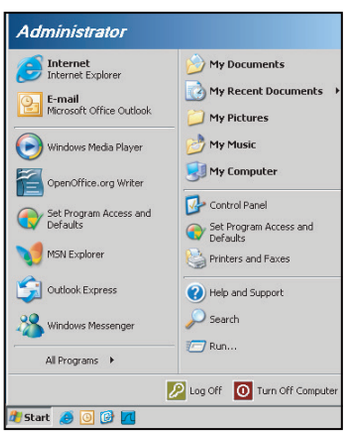
ITヘルプデスクに連絡

RS232 by Telnet機能

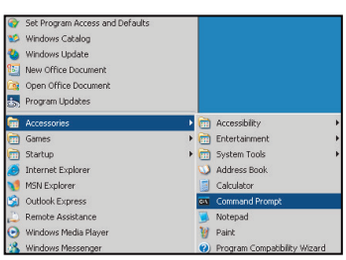
LAN / RJ45インタフェース対象には、RS232コマンドによる制御方法の代用として、プロジェクターには「RS232 by TELNET」機能が備わっています。

「RS232 by Telnet」のクイックスタートガイド

- プロジェクターのOSDから、IPアドレスをチェック・取得します。
- コンピューターがプロジェクターのウェブページにアクセスできるのを確認します。
- 「TELNET」機能がPC / ノートブックでフィルタリングされた場合は、「Windows ファイアウォール」設定が無効に設定されているのを確認します。



1. **スタート** > **全てのプログラム**.> **アクセサリ** > **コマンドプロンプト**を選択します。



2. 以下のコマンド形式で入力します。
   - telnet ttt.xxx.yyy.zzz 23 (「エンター」キーを押す)
   - (ttt.xxx.yyy.zzz: プロジェクターのIPアドレス)
3. Telnet接続が確立されたら、ユーザーはRS232コマンドを入力して「エンター」キーを押すと、RS232コマンドが実行されます。

「RS232 by TELNET」の仕様：

1. Telnet：TCP。
2. Telnetポート：23 (詳細は、テクニカルサポートセンターにお問い合わせください)。
3. Telnetユーティリティ：Windows「TELNET.exe」(コンソールモード)。
4. RS232-by-Telnet制御を切断するには通常以下のコマンド：Close。
5. Windows Telnetユーティリティは、TELNET接続時点から利用できます。
   - Telnet-Controlの制約1：Telnet-Controlアプリケーション用の送信可能ネットワークペイロードは50バイト未満です。

– Telnet-Controlの制約2：Telnet-Control用の完結したRS232コマンドは26バイト未満です。
– Telnet-Controlの制約3：次のRS232コマンドへの最低遅延は、200 (ms)以上必要です。
注：*RS232コマンドプロトコルリスト は、70ページをご参照ください。*

情報メニュー

情報メニュー

以下のリストにあるプロジェクター情報が表示されます。

- 制御
- シリアル番号
- 入力源
- 解像度
- リフレッシュレート
- ディスプレーモード
- リモートコード
- リモートコード(アクティブ)
- 電源モード(スタンバイ)
- 光源使用時間
- ネットワーク情報
- IPアドレス
- プロジェクターID
- エアフィルタ使用時間
- ブライトネスモード
- FWバージョン

追加情報

対応解像度

デジタル

デジタル (HDMI 1_2.0)				
B0 / 確立タイミング	B0 / 標準タイミング	B0 / ディテールタイミング	B1 / ビデオモード	B1 / ディテールタイミング
640 x 480 @ 60 Hz 640 x 480 @ 67 Hz 640 x 480 @ 72 Hz 640 x 480 @ 75 Hz 800 x 600 @ 56 Hz 800 x 600 @ 60 Hz 800 x 600 @ 72 Hz 800 x 600 @ 75 Hz 1024 x 768 @ 60 Hz 1024 x 768 @ 70 Hz 1024 x 768 @ 75 Hz 1152 x 870 @ 75 Hz 1280 x 1024 @ 75 Hz	640 x 480 @ 120 Hz 800 x 600 @ 120 Hz 1024 x 768 @ 120 Hz 4:3 1280 x 720 @ 60 Hz 16:9 1280 x 720 @ 120 Hz 16:9 1280 x 800 @ 60 Hz 16:10 1440 x 900 @ 60 Hz 16:10 1600 x 1200 @ 60 Hz 4:3	WUXGA：1920 x 1200 @ 60 Hz	640 x 480p @ 60 Hz 4:3 720 (1440) x 480i @ 60 Hz 4:3 720 (1440) x 480i @ 60 Hz 16:9 720 (1440) x 576i @ 50 Hz 4:3 720 (1440) x 576i @ 50 Hz 16:9 720 x 480p @ 60 Hz 4:3 720 x 480p @ 60 Hz 16:9 720 x 576p @ 50 Hz 4:3 720 x 576p @ 50 Hz 16:9 1280 x 720p @ 50 Hz 16:9 1280 x 720p @ 60 Hz 16:9 1440 x 480p @ 60 Hz 16:9 1440 x 576p @ 50 Hz 16:9 1920 x 1080i @ 60 Hz 16:9 1920 x 1080i @ 50 Hz 16:9 1920 x 1080p @ 60 Hz 16:9 1920 x 1080p @ 50 Hz 16:9 1920 x 1080p @ 24 Hz 16:9 1920 x 1080p @ 30 Hz 16:9 3840 x 2160p @ 24 Hz 16:9 3840 x 2160p @ 25 Hz 16:9 3840 x 2160p @ 30 Hz 16:9 3840 x 2160p @ 50 Hz 16:9 3840 x 2160p @ 60 Hz 16:9 4096 x 2160p @ 24 Hz 256:135 4096 x 2160p @ 25 Hz 256:135 4096 x 2160p @ 30 Hz 256:135 4096 x 2160p @ 50 Hz 256:135 4096 x 2160p @ 60 Hz 256:135	3840 x 2160 @ 60 Hz 1920 x 1080 @ 60 Hz

追加情報

デジタル (HDMI 2_2.0)				
B0 / 確立タイミング	B0 / 標準タイミング	B0 / ディテール タイミング	B1 / ビデオモード	B1 / ディテールタイミング
640 x 480 @ 60 Hz 640 x 480 @ 67 Hz 640 x 480 @ 72 Hz 640 x 480 @ 75 Hz 800 x 600 @ 56 Hz 800 x 600 @ 60 Hz 800 x 600 @ 72 Hz 800 x 600 @ 75 Hz 1024 x 768 @ 60 Hz 1024 x 768 @ 70 Hz 1024 x 768 @ 75 Hz 1152 x 870 @ 75 Hz 1280 x 1024 @ 75 Hz	640 x 480 @ 120 Hz 800 x 600 @ 120 Hz 1024 x 768 @ 120 Hz 4:3 1280 x 720 @ 60 Hz 16:9 1280 x 720 @ 120 Hz 16:9 1280 x 800 @ 60 Hz 16:10 1440 x 900 @ 60 Hz 16:10 1600 x 1200 @ 60 Hz 4:3	1080p：1920 x 1080 @ 60 Hz	640 x 480p @ 60 Hz 4:3 720 (1440) x 480i @ 60 Hz 4:3 720 (1440) x 480i @ 60 Hz 16:9 720 (1440) x 576i @ 50 Hz 4:3 720 (1440) x 576i @ 50 Hz 16:9 720 x 480p @ 60 Hz 4:3 720 x 480p @ 60 Hz 16:9 720 x 576p @ 50 Hz 4:3 720 x 576p @ 50 Hz 16:9 1280 x 720p @ 50 Hz 16:9 1280 x 720p @ 60 Hz 16:9 1440 x 480p @ 60 Hz 16:9 1440 x 576p @ 50 Hz 16:9 1920 x 1080i @ 60 Hz 16:9 1920 x 1080i @ 50 Hz 16:9 1920 x 1080p @ 60 Hz 16:9 1920 x 1080p @ 50 Hz 16:9 1920 x 1080p @ 24 Hz 16: 9 1920 x 1080p @ 30Hz 16: 9 3840 x 2160p @ 24Hz 16: 9 3840 x 2160p @ 25Hz 16: 9 3840 x 2160p @ 30Hz 16: 9 3840 x 2160p @ 50Hz 16: 9 3840 x 2160p @ 60Hz 16: 9 4096 x 2160p @ 24Hz 256: 135 4096 x 2160p @ 25Hz 256: 135 4096 x 2160p @ 30Hz 256: 135 4096 x 2160p @ 50Hz 256: 135 4096 x 2160p @ 60Hz 256: 135	3840 x 2160 @ 60Hz 1920 x 1200 @ 60Hz

追加情報

デジタル (HDMI 1_1.4)				
B0 / 確立タイミング	B0 / 標準タイミング	B0 / ディテール タイミング	B1 / ビデオモード	B1 / ディテールタイミング
640 x 480 @ 60Hz 640 x 480 @ 67Hz 640 x 480 @ 72Hz 640 x 480 @ 75Hz 800 x 600 @ 56Hz 800 x 600 @ 60Hz 800 x 600 @ 72Hz 800 x 600 @ 75Hz 1024 x 768 @ 60Hz 1024 x 768 @ 70Hz 1024 x 768 @ 75Hz 1152 x 870 @ 75Hz 1280 x 1024 @ 75Hz	640 x 480 @ 120Hz 800 x 600 @ 120Hz 1024 x 768 @ 120Hz 4: 3 1280 x 720 @ 60Hz 16: 9 1280 x 720 @ 120Hz 16: 9 1280 x 800 @ 60Hz 16: 10 1440 x 900 @ 60Hz 16: 10 1600 x 1200 @ 60Hz 4: 3	WUXGA： 1920x1200@60Hz	640 x 480p @ 60Hz 4: 3 720 x 480p @ 60Hz 4: 3 720 x 480p @ 60Hz 16: 9 720(1440) x 480i @ 60Hz 4: 3 720(1440) x 480i @ 60Hz 16: 9 720(1440) x 576i @ 50Hz 4: 3 720(1440) x 576i @ 50Hz 16: 9 720 x 576p @ 50Hz 4: 3 720 x 576p @ 50Hz 16: 9 1280 x 720p @ 50Hz 16: 9 1280 x 720p @ 60Hz 16: 9 1440 x 480p @ 60Hz 16: 9 1440 x 576p @ 50Hz 16: 9 1920 x 1080i @ 60Hz 16: 9 1920 x 1080i @ 50Hz 16: 9 1920 x 1080p @ 24Hz 16: 9 1920 x 1080p @ 25Hz 16: 9 1920 x 1080p @ 30Hz 16: 9 1920 x 1080p @ 60Hz 16: 9 1920 x 1080p @ 50Hz 16: 9	1280 x 720 @ 60Hz 1366 x 768 @ 60Hz 1920 x 720 @ 60Hz 1920 x 1080 @ 60Hz

追加情報

デジタル (HDMI 2_1.4)				
B0 / 確立タイミング	B0 / 標準タイミング	B0 / ディテール タイミング	B1 / ビデオモード	B1 / ディテールタイミング
640 x 480 @ 60Hz 640 x 480 @ 67Hz 640 x 480 @ 72Hz 640 x 480 @ 75Hz 800 x 600 @ 56Hz 800 x 600 @ 60Hz 800 x 600 @ 72Hz 800 x 600 @ 75Hz 1024 x 768 @ 60Hz 1024 x 768 @ 70Hz 1024 x 768 @ 75Hz 1152 x 870 @ 75Hz 1280 x 1024 @ 75Hz	640 x 480 @ 120Hz 800 x 600 @ 120Hz 1024 x 768 @ 120 Hz 4:3 1280 x 720 @ 60 Hz 16:9 1280 x 720 @ 120 Hz 16:9 1280 x 800 @ 60 Hz 16:10 1440 x 900 @ 60 Hz 16:10 1600 x 1200 @ 60 Hz 4:3	1080p：1920 x 1080 @ 60 Hz	640 x 480p @ 60 Hz 4:3 720 x 480p @ 60 Hz 4:3 720 x 480p @ 60 Hz 16:9 720 (1440) x 480i @ 60 Hz 4:3 720 (1440) x 480i @ 60 Hz 16:9 720 (1440) x 576i @ 50 Hz 4:3 720 (1440) x 576i @ 50 Hz 16:9 720 x 576p @ 50 Hz 4:3 720 x 576p @ 50 Hz 16:9 1280 x 720p @ 50 Hz 16:9 1280 x 720p @ 60 Hz 16:9 1440 x 480p @ 60 Hz 16:9 1440 x 576p @ 50 Hz 16:9 1920 x 1080i @ 60 Hz 16:9 1920 x 1080i @ 50 Hz 16:9 1920 x 1080p @ 24 Hz 16:9 1920 x 1080p @ 25 Hz 16:9 1920 x 1080p @ 30 Hz 16:9 1920 x 1080p @ 60 Hz 16:9 1920 x 1080p @ 50 Hz 16:9	1280 x 720 @ 60 Hz 1366 x 768 @ 60 Hz 1920 x 720 @ 60 Hz 1920 x 1080 @ 60 Hz

アナログ

アナログ				
B0 / 確立タイミング	B0 / 標準タイミング	B0 / ディテール タイミング	B1 / ビデオモード	B1 / ディテールタイミング
640 x 480 @ 60 Hz 640 x 480 @ 67 Hz 640 x 480 @ 72 Hz 640 x 480 @ 75 Hz 800 x 600 @ 56 Hz 800 x 600 @ 60 Hz 800 x 600 @ 72 Hz 800 x 600 @ 75 Hz 1024 x 768 @ 60 Hz 1024 x 768 @ 70 Hz 1024 x 768 @ 75 Hz 1152 x 870 @ 75 Hz 1280 x 1024 @ 75 Hz	640 x 480 @ 120 Hz 800 x 600 @ 120 Hz 1024 x 768 @ 120 Hz 4:3 1280 x 720 @ 60 Hz 16:9 1280 x 720 @ 120 Hz 16:9 1280 x 800 @ 60 Hz 16:10 1440 x 900 @ 60 Hz 16:10 1600 x 1200 @ 60 Hz 4:3	WUXGA：1920 x 1200 @ 60 Hz	1920 x 1080 @ 60 Hz 16:9 1366 x 768 @ 60 Hz 16:9 1920 x 720 @ 60 Hz 16:6	該当しない

追加情報

True 3D ビデオ互換性

		入力タイミング	
入力解像度	HDMI 1.4a 3D入力	1280 x 720P @ 50 Hz	Top-and-Bottom
		1280 x 720P @ 60 Hz	Top-and-Bottom
		1280 x 720P @ 50 Hz	Frame Packing
		1280 x 720P @ 60 Hz	Frame Packing
		1920 x 1080i @ 50 Hz	Side-by-Side (Half)
		1920 x 1080i @ 60 Hz	Side-by-Side (Half)
		1920 x 1080P @ 24 Hz	Top-and-Bottom
		1920 x 1080P @ 24 Hz	Frame Packing
		640 x 480 @ 120 Hz	Frame sequential
		800 x 600 @ 120 Hz	Frame sequential
		1024 x 768 @ 120 Hz	Frame sequential
		1280 x 720 @ 120 Hz	Frame sequential

注：

- *3D入力が1080p @ 24 Hzの場合、DMD は3Dモードのインテグラルマルチプレイで再生するものとします。*
- *Optomaからのパテント料金がない場合は、NVIDIA 3DTV Playに対応します。*
- *1080i @ 25 Hzと720p @ 50 Hzは100 Hzで動作、1080p @ 24 Hzは144 Hzで動作、その他3Dタイミングは120 Hzで動作します。*
- *HDMI 入力遅延：49.7 ms*

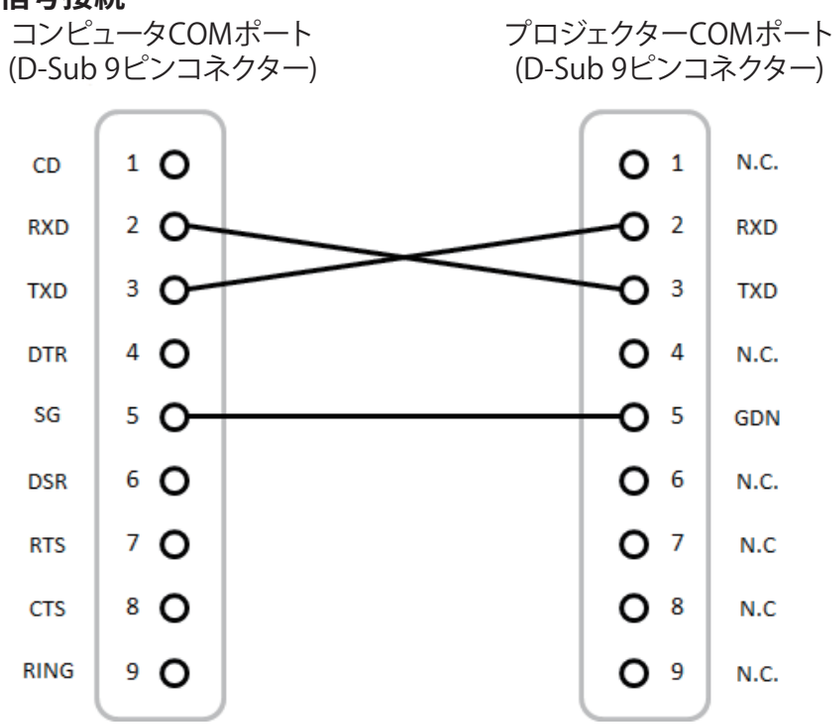
追加情報

RS232 ポート設定および信号の接続

RS232ポート設定

項目	方法
通信方法	非同期通信
ビット/秒	9600
データビット:	8ビット
パリティ	なし
ストップビット:	1
フロー制御	なし

RS232信号接続



注: *RS232端子はアースされています。*

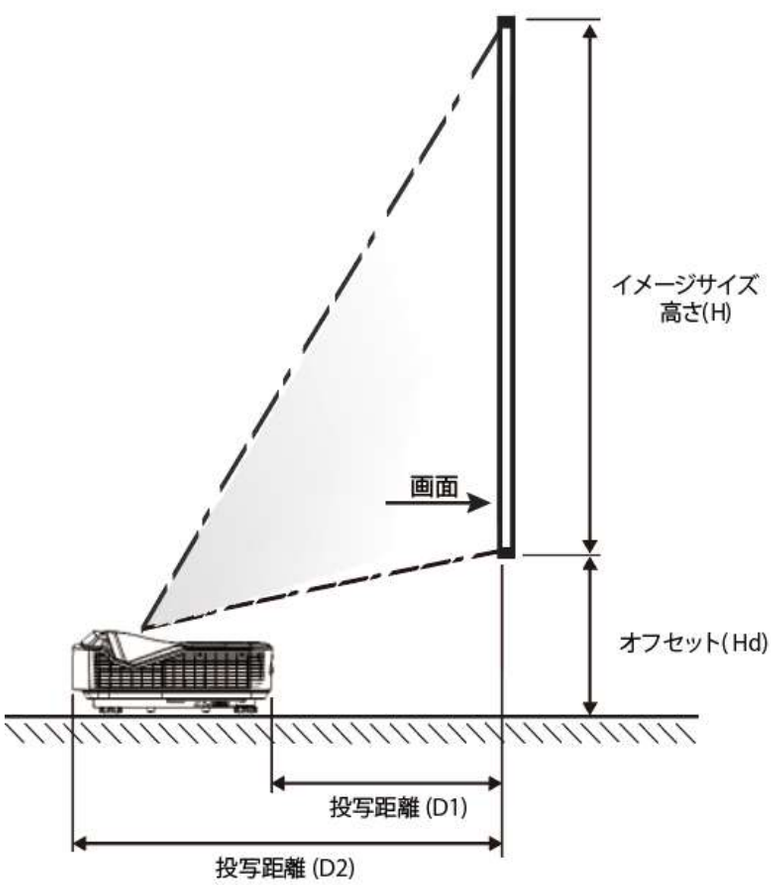
追加情報

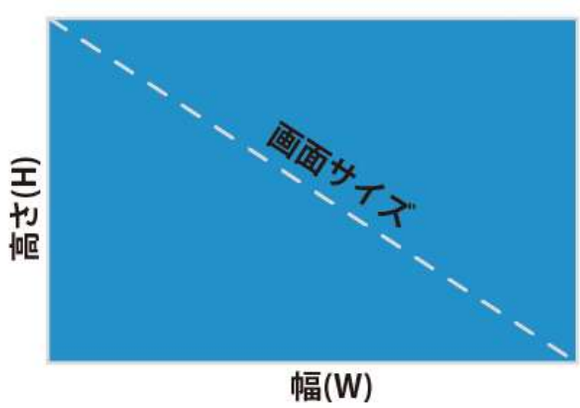
イメージサイズと投写距離 ※1

イメージサイズは0.457m(132インチ)~ 0.583m(155インチ)の範囲で調整可能です。

画面サイズ WUXGA(16：10)	イメージサイズ(m)		投写距離(m)		オフセット(m)
	幅(W)	高さ(H)	D1 ※2	D2	Hd
132	2.843	1.778	0.457	0.775	0.364
135	2.908	1.818	0.474	0.792	0.370
140	3.015	1.885	0.501	0.819	0.382
145	3.123	1.953	0.528	0.846	0.393
150	3.231	2.020	0.555	0.873	0.404
155	3.339	2.087	0.583	0.901	0.415

※1　アスペクトWUXGA（16：10）映写時の距離です。投写距離は実際の距離と誤差のある場合があります。（許容誤差±5%）
※2　このプロジェクターは0.457m～0.583mの距離でピントを合わせることができます。



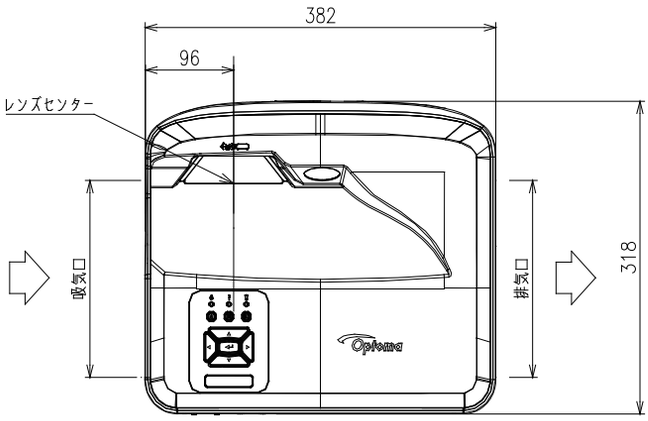


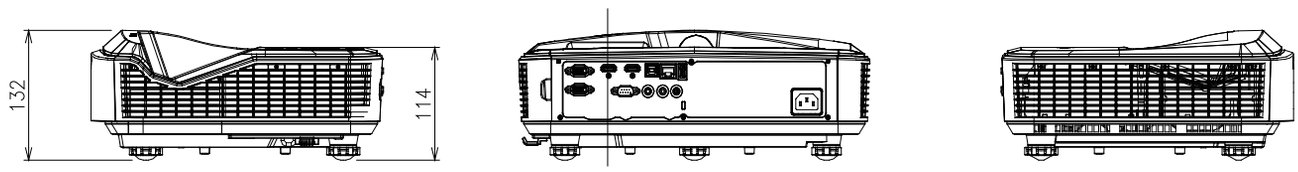
追加情報

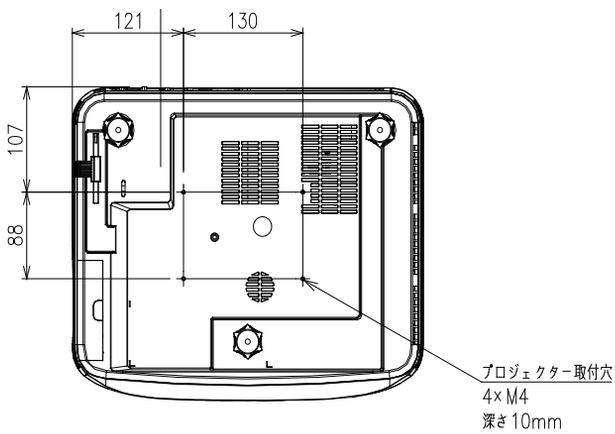
プロジェクターの寸法および天井取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ずオーエスの天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるねじが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。

- ねじの種類：M4×10
- ねじ深さ：10 mm







単位：mm

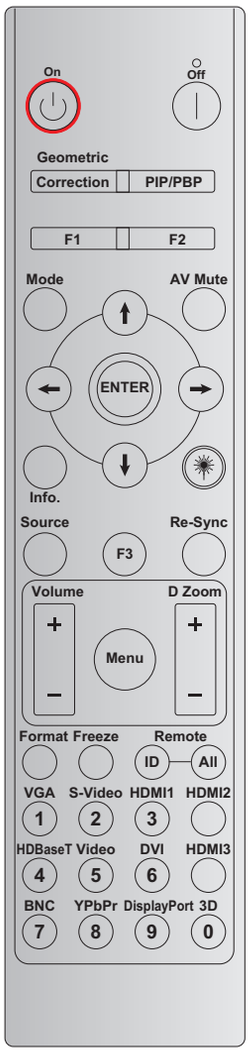
注：*プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。*

警告：

- 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ねじのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも10 cmの隙間が開くようにします。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

追加情報

IRリモコンコード



キー	印刷キー定義	キーコード				リピート
		バイト1	バイト2	バイト3	バイト4	
		カスタマー 0	カスタマー 1	データ 0	データ 1	
電源オン⏻	オン	32	CD	02	#バイト3	F2
電源オフ	オフ	32	CD	2E	#バイト3	F2
幾何補正	幾何補正	32	CD	96	#バイト3	F2
PIP/PBP	PIP/PBP	32	CD	78	#バイト3	F2
F1	F1	32	CD	26	#バイト3	F2
F2	F2	32	CD	27	#バイト3	F2
モード	モード	32	CD	95	#バイト3	F2
4方向選択キー (↑/↓/←/→)	上矢印	32	CD	C6	#バイト3	F2
	下矢印	32	CD	C7	#バイト3	F2
	左矢印	32	CD	C8	#バイト3	F2
	右矢印	32	CD	C9	#バイト3	F2
エンター	エンター	32	CD	C5	#バイト3	F2
AV消音	AV消音	32	CD	03	#バイト3	F2
情報	情報	32	CD	25	#バイト3	F2
レーザー✷	レーザー	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない

追加情報

キー	印刷キー定義	キーコード				リピート
		バイト1	バイト2	バイト3	バイト4	
		カスタマー 0	カスタマー 1	データ 0	データ 1	
ソース	ソース	32	CD	18	#バイト3	F2
F3	F3	32	CD	66	#バイト3	F2
再同期	再同期	32	CD	04	#バイト3	F2
音量	音量+	32	CD	09	#バイト3	F2
	音量-	32	CD	0C	#バイト3	F2
D Zoom	D Zoom +	32	CD	08	#バイト3	F2
	D Zoom -	32	CD	0B	#バイト3	F2
メニュー	メニュー	32	CD	88	#バイト3	F2
フォーマット	フォーマット	32	CD	15	#バイト3	F2
フリーズ	フリーズ	32	CD	06	#バイト3	F2
リモート	リモートID	3201 ~ 3299		該当しない		
	全部リモート	32CD		該当しない		
VGA/1	1/VGA	32	CD	8E	#バイト3	F2
Sビデオ/2	2/Sビデオ	32	CD	1D	#バイト3	F2
HDMI 1/3	3/HDMI 1	32	CD	16	#バイト3	F2
HDMI 2	HDMI 2	32	CD	9B	#バイト3	F2
HDBaseT / 4	4/HDBaseT	32	CD	70	#バイト3	F2
ビデオ/5	5/ビデオ	32	CD	1C	#バイト3	F2
DVI/ 6	6/DVI	32	CD	19	#バイト3	F2
HDMI3	HDMI3	32	CD	98	#バイト3	F2
BNC/7	7/BNC	32	CD	1A	#バイト3	F2
YPbPr/8	8/YPbPr	32	CD	17	#バイト3	F2
Display Port/9	9/DisplayPort	32	CD	9F	#バイト3	F2
3D/0	0/3D	32	CD	89	#バイト3	F2

注：

- *リモコンはキー押下なし、同時に複数のキー押下、1つのキーを60秒以上長押しするとスリープモードになります。*
- *「全部」キーを3秒以上長押しすると、赤いLEDが短く点滅し、カスタマーコードがデフォルトコード (32 CD)にリセットされたことを示します。*
- *カスタマーコードを切り替えるには、「ID」キーを3秒以上長押しすると、赤いLEDがゆっくり点滅します。ここで、10秒以内に2つの数字キーを押します。例えば、カスタマーコードを3201に切り替えるには、以下のように行います。「ID」キーを3秒以上長押してから放して、それから「0」、そして「1」のキーを押します。ただし、2つの数字キー押下間隔が10秒以上になると、カスタマーコードは変わりません。カスタマーコードは3201～3299に設定できます。*
- *LEDインジケーターはいずれかのキー押下で10秒点灯し、他のキーを押さないと5秒間ゆっくり点灯します。ここでキーが押されると、時間が再度カウントされます。*
- *リモコンは電池切れになるまでカスタマーコードを記憶します。*

追加情報

故障かなと思ったら

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはテクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

画像の問題

画面に画像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうかを確認してください。
- 「ミュート」機能がオンに設定されていないか確認してください。

画像のピントが合っていない

- プロジェクターのフォーカススイッチで調整してください。(18ページ参照)
- 投写画面が必要な距離の間に入っていることを確認してください。(61ページ参照)

16:9 DVDタイトルを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィックDVDまたは16:9 DVDを再生するとき、プロジェクター側から16:9形式で最適な画像を表示します。
- LBXフォーマットのDVDタイトルを再生する場合は、プロジェクターのOSDでフォーマットをLBXに変更してください。
- 4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターOSDで4:3にフォーマットを変更してください。
- お使いのDVDプレーヤーで、16:9 (ワイド)アスペクト比タイプとして表示フォーマットを設定してください。

画像が小さすぎるまたは大きすぎる

- プロジェクターをスクリーンに近づけたり離したりしてください。
- プロジェクターパネルの「メニュー」を押して、「表示 → アスペクト比」と進みます。異なる設定をお試しください。

画像が横に傾く

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端になるように配置し直してください。

画像が反転する

- OSDーから「設定→ 投写方式」を選択し、投写方向を調整してください。

追加情報

その他の問題

プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20秒待ってから電源を接続し直してください。

リモコンの問題

リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの動作範囲がプロジェクターの赤外線レシーバー直角方向から± 30°以内にあるか確認します。
- リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクターから12メートル以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認してください。
- 古くなった電池は、新しいものと交換してください。

追加情報

警告インジケーター

警告インジケーター(以下を参照)が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。

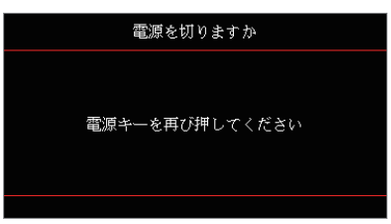
- 「ランプ」LEDインジケーターが赤く点灯し、「電源/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。
- [温度] LEDインジケーターが赤く点灯し、[電源]インジケーターが赤色に点滅している場合。これはプロジェクターが過熱状態になっていることを表します。標準の条件になると、プロジェクターを再度オンすることができます。
- 「温度」LEDインジケーターが赤く点滅し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。

プロジェクターから電源コードを抜き、30秒後に再試行します。警告インジケーターが再度、点灯または点滅した場合は、テクニカルサポートセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

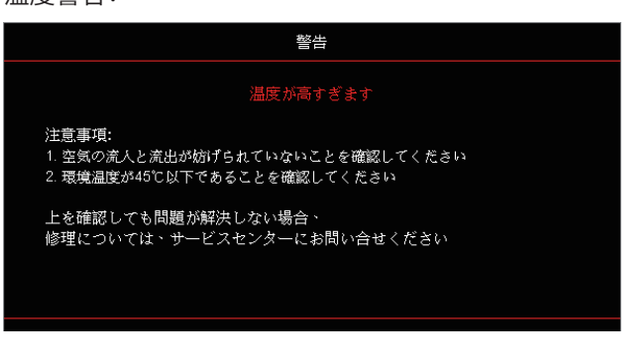
LED点灯メッセージ

メッセージ	電源LED		温度LED	ランプLED
	(赤)	(青)	(赤)	(赤)
スタンバイ状態 (電源コード接続済)	点灯			
電源オン(警告)	点滅 (消灯1秒、点灯1秒)			
電源オン&ランプ点灯		点灯		
電源オフ(冷却)	点滅 (消灯0.5秒、点灯0.5秒) 冷却ファンがオフになると、赤く点灯に戻ります。			
エラー(LED過熱)			点灯	
エラー(LED故障)				点灯
エラー(ファン故障)			点滅	
エラー(過熱)			点灯	

- 電源オフ



- 温度警告:



追加情報

仕 様

本体カラー	ホワイト
投写方式	DLP®Technology
表示素子	0.67型　WUXGA（1920×1200）　DMDチップ　※1
HDR信号	HDR10、HLG対応
入力解像度	取扱説明書 参照
アスペクト比	16：10 ※2
明るさ	5,000ルーメン
コントラスト比	100,000：1
投写レンズ	固定焦点レンズ、マニュアルフォーカス
光源	レーザー
光源寿命	30,000時間(エコモード)
投写距離	0.457m（132型）～0.583m（155型）　※3
キーストン補正	水平±10°・垂直±10°（手動）
コンピューター信号	4K UHD（3840 x 2160）、FHD、HD、UXGA、SXGA+、SXGA、XGA、SVGA、VGA
ビデオ対応信号	Full NTSC、PAL、PAL-M、PAL-N、SECAM
入力端子	HDMI（V2.0 HDCP2.0 最大4K HDR（3840x2160）/60fps）×2、 VGA IN ×1、オーディオ（3.5mmジャック）×1、マイク(3.5mmジャック) ×1
出力端子	オーディオ（3.5mmジャック）×1、USB-A（1.5A）×1、 VGA OUT ×1
コントロール端子	RS-232C ×1、RJ45 ×1、USB-B（メンテナンス用）×1
スピーカー	10W（モノラル）
騒音値	33dB（エコモード）
電源	AC 100V～240V（50/60Hz）
消費電力	340W（Dynamic Blackモード）
待機電力	0.5W以下（エコモード）
RoHS指令	適合
VCCI	適合
外形寸法	382（W）mm×318（D）mm×132（H）mm
製品質量	5.7kg
付属品	電源コード、リモコン、単4電池×2、取扱注意書(QRコード)
梱包寸法	（W）520mmx（D）420mmx（H）320mm
梱包質量	8.4kg
動作環境	気温 5～40℃、湿度 10～85%(結露無きこと)

※ 仕様は予告なしで変更されることがあります。

※1 DMD™/DLP®テクノロジーの中核をなす半導体、デジタル・マイクロミラー・デバイス。半導体上に可動する極小のミラーが、ZU500UST（1920x1200）の場合、230万個以上敷き詰められ、1秒間に9000回というスピードで切り替えられて、ミラーに当たった光を反射して画像を再現します。

※2 画面の横と縦の比率です。

※3 アスペクトWUXGA（16：10）映写時の距離です。投写距離は実際の距離と誤差のある場合があります。（許容誤差±5%）

追加情報

RS232 protocol function list

Baud Rate 9600
Data Bits 8
Parity None
Stop Bits 1
Flow Control None
UART16550 FIFO Disable

■ Write Command

~	X	X	X	X	X		n	CR
Lead Code	Projector ID		Command			space	variable	carriage return
Prefix	00~99 (Default: 00)		000~999				0~9999	suffix

Pass:	**P**
Fail:	**F**

■ Read Command

~	X	X	X	X	X		n	CR
Lead Code	Projector ID		Command			space	variable	carriage return
Prefix	00~99 (Default: 00)		000~999				0~9999	suffix

Response Format

Pass:	**O**	**k**	**n**
			Variable

Fail:	**F**

■ System Automatically Send

I	N	F	O	n
				Variable

Note: *There is a <CR> after all ASCII commands. 0D is the HEX code for <CR> in ASCII code.*

追加情報

							Write Command			Read Command							
							Command			Command							
Main Menu	Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	n value	CMD	space	Set Para.	CMD	space	CMD Value	Pass				
Display	Image Settings	Display Mode	[None]							~XX123		1			O	k	0
			Presentation				~XX20		1	~XX123		1			O	k	1
			Bright				~XX20		2	~XX123		1			O	k	2
			Cinema				~XX20		3	~XX123		1			O	k	3
			HDR				~XX20		21	~XX123		1			O	k	21
			HLG				~XX20		25	~XX123		1			O	k	25
			sRGB				~XX20		4	~XX123		1			O	k	4
			DICOM SIM.				~XX20		10	~XX123		1			O	k	10
			User				~XX20		5	~XX123		1			O	k	5
			3D				~XX20		9	~XX123		1			O	k	9
			Blending				~XX20		19	~XX123		1			O	k	19
		Wall Color	Off				~XX506		0								
			BlackBoard				~XX506		1								
			Light Yellow				~XX506		7								
			Light Green				~XX506		3								
			Light Blue				~XX506		4								
			Pink				~XX506		5								
			Gray				~XX506		6								
		Dynamic Range	HDR/HLG	Off			~XX565		0								
				Auto			~XX565		1								
			HDR Picture Mode	Bright			~XX566		0								
				Standard			~XX566		1								
				Film			~XX566		2								
				Detail			~XX566		3								
			HLG Picture Mode	Bright			~XX567		0								
				Standard			~XX567		1								
				Film			~XX567		2								
				Detail			~XX567		3								
		Brightness	-				~XX46		1								
			-50 ~ 50				~XX21		-50~50	~XX125		1			O	k	-50~50
			+				~XX46		2								
		Contrast	-				~XX47		1								
			-50 ~ 50				~XX22		-50~50	~XX126		1			O	k	-50~50
			+				~XX47		2								
		Sharpness	1 ~ 15				~XX23		1~15								
		Color	-50 ~ 50				~XX45		-50~50								
		Tint	-50 ~ 50				~XX44		-50~50								
		Gamma	Film				~XX35		1								
			Video				~XX35		2								
			Graphics				~XX35		3								
			Standard(2.2)				~XX35		4								
			1.8				~XX35		5								
			2.0				~XX35		6								
			2.4				~XX35		12								
			2.6				~XX35		8								
		Color Settings	BrilliantColor™	1 ~ 10			~XX34		1~10								
			Color Temperature	Warm			~XX36		4	~XX128		1			O	k	3
				Standard			~XX36		1	~XX128		1			O	k	0
				Cool			~XX36		2	~XX128		1			O	k	1
				Cold			~XX36		3	~XX128		1			O	k	2
			Color Matching	Color		R / G / B / C / Y / M / W											
				(R) Saturation		-50~50	~XX333		-50~50								
				(R) Hue		-50~50	~XX327		-50~50								
				(R) Gain		-50~50	~XX339		-50~50								
				(G) Saturation		-50~50	~XX334		-50~50								
				(G) Hue		-50~50	~XX328		-50~50								
				(G) Gain		-50~50	~XX340		-50~50								
				(B) Saturation		-50~50	~XX335		-50~50								
				(B) Hue		-50~50	~XX329		-50~50								
				(B) Gain		-50~50	~XX341		-50~50								
				(C) Saturation		-50~50	~XX336		-50~50								
				(C) Hue		-50~50	~XX330		-50~50								
				(C) Gain		-50~50	~XX342		-50~50								
				(Y) Saturation		-50~50	~XX337		-50~50								
				(Y) Hue		-50~50	~XX331		-50~50								
				(Y) Gain		-50~50	~XX343		-50~50								
				(M) Saturation		-50~50	~XX338		-50~50								
				(M) Hue		-50~50	~XX332		-50~50								
				(M) Gain		-50~50	~XX344		-50~50								
				(W) Red		-50~50	~XX345		-50~50								
				(W) Green		-50~50	~XX346		-50~50								
				(W) Blue		-50~50	~XX347		-50~50								
				Reset			~XX215		1								
			RGB Gain/Bias	Red Gain		-50~50	~XX24		-50~50								
				Green Gain		-50~50	~XX25		-50~50								
				Blue Gain		-50~50	~XX26		-50~50								
				Red Bias		-50~50	~XX27		-50~50								
				Green Bias		-50~50	~XX28		-50~50								
				Blue Bias		-50~50	~XX29		-50~50								
				Reset			~XX517		1								
			Color Space	Auto			~XX37		1								
				RGB			~XX37		2								
				YUV			~XX37		3								
				RGB(0~255)			~XX37		2								
				RGB(16~235)			~XX37		4								
		Signal	Automatic	Off			~XX91		0								
				On			~XX91		1								
			Frequency			-50~50	~XX73		-50~50								
			Phase			0~31	~XX74		0~31								
			H. Position			-50~50	~XX75		-50~50								
			V. Position			-50~50	~XX76		-50~50								
		Brightness Mode	Dynamic Black	Off			~XX91		0								
				On			~XX91		1								
			Eco.				~XX110		2								
			Constant Power	100%			~XX326		0								
				95%			~XX326		1								
				90%			~XX326		2								
				85%			~XX326		3								
				80%			~XX326		4								
				75%			~XX326		5								
				70%			~XX326		6								
				65%			~XX326		7								
				60%			~XX326		8								
				55%			~XX326		9								
				50%			~XX326		10								
				45%			~XX326		11								
				40%			~XX326		12								
				35%			~XX326		13								
				30%			~XX326		14								
				25%			~XX326		15								
				20%			~XX326		16								
			Constant Luminance	85%			~XX522		0								
				80%			~XX522		1								
				75%			~XX522		2								
				70%			~XX522		3								
				65%			~XX522		4								
				60%			~XX522		5								
				55%			~XX522		6								
				50%			~XX522		7								
				45%			~XX522		8								
				40%			~XX522		9								
				35%			~XX522		10								
				30%			~XX522		11								
		Reset					~XX509		1								

Note: *Some commands are not supported, it depends on models.*

追加情報

							Write Command			Read Command						
							Command			Command						
Main Menu	Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	n value	CMD	space	Set Para.	CMD	space	CMD Value	Pass			
	3D	3D Mode	Off				~XX230		0							
			On				~XX230		4							
		3D Tech	Off				~XX230		0							
			DLP-Link				~XX230		1							
		3D-2D	3D				~XX400		0							
			L				~XX400		1							
			R				~XX400		2							
		3D Format	Auto				~XX405		0							
			SBS				~XX405		1							
			Top and Bottom				~XX405		2							
			Frame Sequential				~XX405		3							
		3D sync invert	Off				~XX231		0							
			On				~XX231		1							
		Reset					~XX234		1							
	Aspect Ratio	4:3					~XX60		1	~XX127		1		O	k	1
		16:9					~XX60		2	~XX127		1		O	k	2
		16:10					~XX60		3	~XX127		1		O	k	3
		LBX					~XX60		5	~XX127		1		O	k	5
		Native					~XX60		6	~XX127		1		O	k	6
		Auto					~XX60		7	~XX127		1		O	k	7
	Edge Mask					0~10	~XX61		0~10							
	Zoom	Zoom Plus					~XX05		1							
		-5~25					~XX62		-5~25							
		Zoom Minus					~XX06		1							
	Image Shift	H+					~XX540		2							
		H	-100 ~ 100 (Depends on models)				~XX63		-100~100	~XX543		1		O	k	-100~100
		H-					~XX540		1							
		V+					~XX541		2							
		V	-100 ~ 100 (Depends on models)				~XX64		-100~100	~XX543		2		O	k	-100~100
		V-					~XX541		1							
	Geometric Correction	Four Corners	top left	H: 0~120			~XX58		1							
				V: 0~80			~XX58		2							
				right +1			~XX59		1							
				left +1			~XX59		2							
				up + 1			~XX59		3							
				down +1			~XX59		4							
			top right	H: 0~120			~XX58		3							
				V: 0~80			~XX58		4							
				right +1			~XX59		5							
				left +1			~XX59		6							
				up + 1			~XX59		7							
				down +1			~XX59		8							
			Bottom-left	H: 0~120			~XX58		5							
				V: 0~80			~XX58		6							
				right +1			~XX59		9							
				left +1			~XX59		10							
				up + 1			~XX59		11							
				down +1			~XX59		12							
			Bottom-right	H: 0~120			~XX58		7							
				V: 0~80			~XX58		8							
				right +1			~XX59		13							
				left +1			~XX59		14							
				up + 1			~XX59		15							
				down +1			~XX59		16							
			Reset				~XX516		1							
		H Keystone	-40 ~ 40				~XX65		-40~40	~XX543		4		O	k	-40~40
		V Keystone	-40 ~ 40				~XX66		-40~40	~XX543		3		O	k	-40~40
Audio	Audio Settings	Auto					~XX314		0							
		Internal Speaker					~XX314		1							
		Audio Out					~XX314		2							
	Mute	Off					~xX80		0	~XX356		1		O	k	0
		On					~xX80		1	~XX356		1		O	k	1
	Mic	Off					~XX562		0							
		On					~XX562		1							
	Volume					0~10	~XX81		0~10							
	Mic Volume					0~10	~XX93		0~10							
Setup	Projection	Front					~XX71		1	~XX129		1		O	k	0
		Rear					~XX71		2	~XX129		1		O	k	1
		Ceiling-top					~XX71		3	~XX129		1		O	k	2
		Rear-top					~XX71		4	~XX129		1		O	k	3
	Screen Type	16:9					~XX90		0							
		16:10					~XX90		1							
	Filter Settings	Filter Usage Hours								~XX321		1		O	k	nnnn (nnnn=hour digits)
		Optional Filter Installed	No				~XX320		0							
			Yes				~XX320		1							
		Filter Reminde	Off				~XX322		0							
			300hr				~XX322		1							
			500hr				~XX322		2							
			800hr				~XX322		3							
			1000hr				~XX322		4							
		Filter Reset					~XX323		1							
	Power Settings	Direct Power On	Off				~XX105		0							
			On				~XX105		1							
		Signal Power On	Off				~XX113		0							
			On				~XX113		1							
		Auto Power Off (min.)	0 ~ 180 (1 min increments)			20	~XX106		0~180							
			0~990			30	~XX107		000~990							
		Sleep Timer (min.)	Always On	No			~XX507		0							
				Yes			~XX507		1							
		Power Mode (Standby)	Active				~XX114		1	~XX150		16		O	k	1
			Eco.				~XX114		0	~XX150		16		O	k	0
	Security	Security	Off				~XX78		0 ~nnnn							
			On				~XX78		1 ~nnnn							
		Security Timer	Month				~XX537		00~12	~XX544		1		O	k	00~12
			Day				~XX538		00~30	~XX544		2		O	k	00~30
			Hour				~XX539		00~24	~XX544		3		O	k	00~24
			MM/DD/HH				~XX77		~MMDDHH							
	HDMI Link Settings	HDMI Link	Off				~XX511		0							
			On				~XX511		1							
		Inclusive of TV	No				~XX512		0							
			Yes				~XX512		1							
		Power On Link	Mutual				~XX513		1							
			PJ --> Device				~XX513		2							
			Device --> PJ				~XX513		3							
		Power Off Link	Off				~ XX514		0							
			On				~ XX514		1							
	Test Pattern	Green Grid					~XX195		3							
		Magenta Grid					~XX195		4							
		White Grid					~XX195		1							
		White					~XX195		2							
		Off					~XX195		0							
	Remote Settings	IR Function	Off All				~XX11		0							
			On All				~XX11		1							
		Remote Code	-				~XX48		1							
			00~99				~XX350		00~99	~XX558		1		O	k	00~99
			+				~XX48		2							
		User1 (F1)	Functions please refer to UM			1.Test Pattern 2.Brightness 3.Contrast 4.Sleep Timer 5.Color Matching 6.Color Temp 7.Gamma 8.Projection 9.Digital Lens Shift	~XX117		1~9							
		User2 (F2)	Functions please refer to UM				~XX118		1~9							
		User3 (F3)	Functions please refer to UM				~XX119		1~9							

Note: *Some commands are not supported, it depends on models.*

追加情報

							Write Command			Read Command			
							Command			Command			
Main Menu	Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	n value	CMD	space	Set Para.	CMD	space	CMD Value	Pass
	Projector ID	00~99					~XX79		00~99				
	Options	Language	English				~XX70		1				
			Deutsch				~XX70		2				
			Francais				~XX70		3				
			Italiano				~XX70		4				
			Espanol				~XX70		5				
			Portugues				~XX70		6				
			Polski				~XX70		7				
			Nederlands				~XX70		8				
			Svenska				~XX70		9				
			Norsk/Dansk				~XX70		10				
			Suomi				~XX70		11				
			ελληνικά				~XX70		12				
			繁體中文				~XX70		13				
			簡体中文				~XX70		14				
			日本語				~XX70		15				
			한국어				~XX70		16				
			Русский				~XX70		17				
			Magyar				~XX70		18				
			Čeština				~XX70		19				
			عربي				~XX70		20				
			ไทย				~XX70		21				
			Turkce				~XX70		22				
			فارسی				~XX70		23				
			Tiếng Việt				~XX70		25				
			Bahasa Indonesia				~XX70		26				
			Romanā				~XX70		27				
			Slovakian				~XX70		28				
		Menu Settings	Menu Location	Top left			~XX72		1				
				Top right			~XX72		2				
				Center			~XX72		3				
				Bottom left			~XX72		4				
				Bottom right			~XX72		5				
			Menu Timer	Off			~XX515		0				
				5sec			~XX515		1				
				10sec			~XX515		3				
		Auto Source	Off				~XX563		0				
			On				~XX563		1				
		Input Source	[No signal]							~XX121		1	O k 0
			HDMI1				~XX12		1	~XX121		1	O k 7
			HDMI2				~XX12		15	~XX121		1	O k 8
			VGA				~XX12		5	~XX121		1	O k 2
		Input Name	HDMI1	Default / Custom		Default	~XX518		1 ~nn...n (10 charactors)				
			HDMI2	Default / Custom		Default	~XX518		2 ~nn...n (10 charactors)				
			VGA	Default / Custom		Default	~XX518		8 ~nn...n (10 charactors)				
		High Altitude	Off				~XX101		0				
			On				~XX101		1				
		Display Mode Lock	Off				~XX348		0				
			On				~XX348		1				
		Keypad Lock	Off				~XX103		0				
			On				~XX103		1				
		Information Hide	Off				~XX102		0				
			On				~XX102		1				
		Logo	Default				~XX82		1				
			Neutral				~XX82		3				
			User				~XX82		2				
		Background Color	None				~XX104		0				
			Blue				~XX104		1				
			Red				~XX104		3				
			Green				~XX104		4				
			Gray				~XX104		6				
			Logo				~XX104		7				
	Auto Upgrade F/W	On					~XX168		1	~XX158		1	O k 1
		Off					~XX168		0	~XX158		1	O k 0
	Reset	Reset OSD					~XX546		1				
		Reset to Default					~XX112		1				
		Reset to Default with password					~XX112		1 ~nnnn				
Network	LAN	Network Status	Connected							~XX87		1	O k 1
			Disconnected							~XX87		1	O k 0
		MAC Address								~XX555		1	O k nn:nn:nn:nn:nn:nn
		DHCP	Off							~XX150		17	O k 0
			On							~XX150		17	O k 1
		IP Address				192.168.0.100				~XX87		3	O k nnn.nnn.nnn.nnn
		Subnet Mask				255.255.255.0							
		Gateway				192.168.0.254							
		DNS				192.168.0.51							
		Reset											
	Control	Crestron	Off				~XX454		0				
			On				~XX454		1				
		Extron	Off				~XX455		0				
			On				~XX455		1				
		PJ Link	Off				~XX456		0				
			On				~XX456		1				
		AMX Device Discovery	Off				~XX457		0				
			On				~XX457		1				
		Telnet	Off				~XX458		0				
			On				~XX458		1				
		HTTP	Off				~XX459		0				
			On				~XX459		1				
Info	Regulatory												
	Serial Number									~XX353		1	O k nnnnnnnnnnnnnnnn
	Current Input Source									~XX121		1	* Check "Input Source" read above
	Resolution	00x00								~XX150		4	O k nnnnnnnnnnnn e.g. Ok1920x1080)
	Refresh Rate	00Hz								~XX150		19	O k nnnnn (e.g. Ok60Hz)
	Network Status	Disconnected								~XX87		1	O k 0
		Connected								~XX87		1	O k 1
	IP Address									~XX87		3	O k nnn_nnn_nnn_nnn
	Projector ID	00~99								~XX558		1	O k nn
	Remote Code	00~99											
	Remote Code(Active)	00~99											
	Display Mode									~XX123		1	* Check "Display Mode" read above
	Power mode(standby)	Eco.								~XX150		16	O k 0
		Active								~XX150		16	O k 1
		Communication								~XX150		16	O k 3
	Brightness Mode												
	Filter Usage Hours									~XX321		1	O k nnnn
	Light Source Hours	Total								~XX108		1	O k nnnnn (nnnnn= hour digits)
	FW Version	System											
		LAN											
		MCU											

Note: *Some commands are not supported, it depends on models.*

追加情報

Main Menu	Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	n value	Write Command Command CMD	space	Set Para.	Read Command Command CMD	space	CMD Value	Pass				
	Other Items																
Other Items	Power Off						~XX00		0	~XX124		1					
	Power On						~XX00		1	~XX124		1					
	Power On with password						~XX00		1 ~nnnn								
	Re-Sync						~XX01		1								
	AV Mute	Off					~XX02		0	~XX355		1					
		On					~XX02		1	~XX355		1					
	Mute	Off					~XX03		0	~XX356		1					
		On					~XX03		1	~XX356		1					
	Freeze	Unfreeze					~XX04		0								
		Freeze					~XX04		1								
	System Auto Send	Standby Mode											I	N	F	O	0
		Warming up											I	N	F	O	1
		Cooling Down											I	N	F	O	2
		Out of Range											I	N	F	O	3
		Over Temperature											I	N	F	O	7
	Model Name	Optoma WUXGA								~XX151		1			O	k	5
	Software Version									~XX122		1			O	k	nnnnnnn (Software Version)
	LAN FW version									~XX357		1			O	k	nnnnnnn (LAN FW version)
	Fan Speed	Fan 1 Speed	0000~9999							~XX351		1			O	k	0000~9999
		Fan 2 Speed	0000~9999							~XX351		2			O	k	0000~9999
		Fan 3 Speed	0000~9999							~XX351		3			O	k	0000~9999
		Fan 4 Speed	0000~9999							~XX351		4			O	k	0000~9999
		Fan 5 Speed	0000~9999							~XX351		5			O	k	0000~9999
	System Temperature									~XX352		1			O	k	0000~9999
	Information	Info String				a = Power Status b = Lamp Hour c = Input Source d = Firmware Version DDP ver. = DXX MCU ver. = MXX LAN ver. = LXX/1.01 e = Display mode				~XX150		1			O	k	abbbbbccddddee (Note*1)
		Resolution								~XX150		4			O	k	nnn..nn (e.g.Ok1920x1080)
		Standby Power Mode	Active							~XX150		16			O	k	1
			Eco.							~XX150		16			O	k	2
		DHCP	Off							~XX150		17			O	k	0
			On							~XX150		17			O	k	1
		System Temperature								~XX150		18			O	k	nnn..nn (e.g. Ok48)
		Refresh rate								~XX150		19			O	k	nnn..nn (e.g. Ok60Hz)
	Source Lock	Off					~XX100		0								
		On					~XX100		1								
	Display message on the OSD						~XX210		nn...n (140 charactors)								
	Constant Luminance Settings	0~11					~XX522		0~11								
	Remote Control Simulation																
Remote Control Simulation	Power						~XX140		1								
	Power Off						~XX140		2								
	Up						~XX140		10								
	Left						~XX140		11								
	Enter (for projection MENU)						~XX140		12								
	Right						~XX140		13								
	Down						~XX140		14								
	Volume -						~XX140		17								
	Volume +						~XX140		18								
	Menu						~XX140		20								
	VGA-1						~XX140		23								
	AV Mute						~XX140		24								
	Freeze						~XX140		30								
	Zoom +						~XX140		32								
	Zoom -						~XX140		33								
	Mode						~XX140		36								
	Aspect Ratio						~XX140		37								
	info						~XX140		40								
	Re-sync						~XX140		41								
	HDMI 1						~XX140		42								
	HDMI 2						~XX140		43								
	Source						~XX140		47								
	1						~XX140		51								
	2						~XX140		52								
	3						~XX140		53								
	4						~XX140		54								
	5						~XX140		55								
	6						~XX140		56								
	7						~XX140		57								
	8						~XX140		58								
	9						~XX140		59								
	0						~XX140		60								
	Hot Key (user1)(F1)						~XX140		70								
	Hot Key (user2)(F2)						~XX140		71								
	Hot Key (user3)(F3)						~XX140		72								
	3D						~XX140		78								

Note: *Some commands are not supported, it depends on models.*

追加情報

Note *1
~xx150

Power	Light Source Life					Input Source		Firmware Version				Display Mode	
a	b	b	b	b	b	c	c	d	d	d	d	e	e
a=0 Power Off a=1 Power On	Light Source Life = nnnn Calucalte by each mode formula					cc=00 None cc=01 DVI cc=02 VGA1 cc=03 VGA2 cc=04 S-Video cc=05 Video cc=06 BNC cc=07 HDMI1 cc=08 HDMI2 cc=09 Wireless cc=10 Compnent cc=11 Flash drive cc=12 Network Display(Presenter) cc=13 USB Display cc=14 HDMI3 cc=15 DisplayPort cc=16 HDBaseT cc=17 Multimedia		#	#	#	#	ee=00 None ee=01 Presentation (Old: Cinema) ee=02 Bright ee=03 Cinema (Old: Movie/Photo) ee=04 sRGB\Reference\Standard ee=05 User(1) ee=06 User2 ee=07 Blackboard ee=08 Classroom ee=09 3D ee=10 DICOM SIM. ee=11 Film ee=12 Game ee=13 Cinema ee=14 Vivid ee=15 ISF Day ee=16 ISF Night ee=17 ISF 3D ee=18 2D high speed ee=19 Blending Mode ee=20 Sport ee=21 HDR ee=22 HDR SIM. ee=23 Super Bright ee=24 (Alexa auto check 2D/3D User)	

Note: *Some commands are not supported, it depends on models.*

販売元　株式会社オーエスエム

連絡先：株式会社オーエス　テクニカルサポートセンター

〒557-0063　大阪市西成区南津守 6-5-53

TEL　0120-465-040　FAX　0120-380-496

（受付時間：平日 9：00 ～ 17：50　土日祝日を除く）

E-mail：info@os-worldwide.com

WEB：https://www.optoma.jp